

第32回 2021年5月1日(土)、2日(日)、3日(月・祝) 東京国際コイン・コンヴェンション

32nd TOKYO INTERNATIONAL COIN CONVENTION 2021.5.1 ~ 3

東京・日本橋 ロイヤルパークホテル 3階 入場無料

特集

円の
はじまり

~旧一圓銀貨 明治3年~



期間中
無料鑑定・相談コーナーを設置



主催/日本貨幣商協同組合

東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル409
TEL.03-3508-1701 FAX.03-3593-1029

■ 日本貨幣商協同組合ホームページ
www.jnda.or.jp

■ 後援/独立行政法人 造幣局・独立行政法人 国立印刷局
外務省・文化庁・日本赤十字社・中央区
カナダ大使館・フランス大使館
■ 協賛/(株) ロイヤルパークホテル



5月1日は
コインの日



お問い合わせ



 **中国金币总公司** 总经销

Solely Distributed by China Gold Coin Incorporation

中国金币网 <http://www.chngc.net>

中国金币网上商城 <http://www.chinagoldcoin.net>

联系邮箱 BICE@chngc.net

 **中国金币总公司**
CHINA GOLD COIN INCORPORATION

中国长城硬币投资有限公司
China Great Wall Coins Investments Ltd.

香港皇后大道中183号中远大厦41字楼4101室
Unit 4101, 41/F., Cosco Tower, 183 Queen's Road Central, Hong Kong
电话 Tel: (852) 2543 3199 传真 Fax: (852) 2854 0039
网址 Website: www.chinacoin.com.hk
电邮 Email: info@gwcoin.hk

海外 SOLE
总经销 OVERSEAS
DISTRIBUTOR

第 32 回東京国際コイン・コンヴェンション開催にあたって

Welcome to the 32nd Tokyo International Coin Convention



令和 3 年 5 月
日本貨幣商協同組合
理事長 関 口 寧

May, 2021
Japan Numismatic Dealers Association
Chairman Yasushi Sekiguchi

我が国最大の貨幣イベント、東京国際コイン・コンヴェンションが今年も開催の運びとなりました。

The 32nd Tokyo International Coin Convention, the largest coin convention in Japan, will begin soon.

今回の東京国際コイン・コンヴェンションは新型コロナウイルス感染防止対策を万全に整え、安全・安心を最大限に考慮し、貨幣を愛する皆様の出会いや交流の場となる事が出来れば、大変喜ばしい事と思っております。

We hope that this Tokyo International Coin Convention will be a place for people who love numismatics to meet and interact with each other. You can rest assured that we are taking all possible measures to prevent COVID-19 infection, giving the utmost consideration to the visitors' safety under the circumstances.

ご後援を、独立行政法人造幣局・独立行政法人国立印刷局・外務省・文化庁・日本赤十字社・中央区・在日各国大使館様より賜っております。更に展示や各種イベントの開催に、各地の古銭会・研究会の皆様のご協力を頂いております。永きに亘るご支援を心より感謝申し上げます。

We are grateful for the patronage from the Japan Mint, the National Printing Bureau, the Ministry of Foreign Affairs, the Agency for Cultural Affairs, the Japanese Red Cross Society, Chuo Ward, Tokyo, and the foreign embassies in Japan. We are also grateful to numismatic clubs and study groups throughout Japan for their assistance to hold exhibitions and various events in their areas. On this occasion, we would like to express our sincere gratitude for their long-standing support.

2021 年 1 月 16 日(土)に行われた大学共通テスト一日目の日本史 B と世界史 B において、貨幣に関する設問が出題されました。設問は時事をリード文にして、貨幣の歴史や役割について説き起こしていくという形式をとっており、昨今世間で貨幣への関心が高まっていることを如実に表している内容でした。

Questions about money were asked in Japanese History B and World History B on the first day of the Common Test for University Admissions held on Saturday, January 16, 2021. The questions took the form of explaining the history and role of money with current affairs as the lead-in sentence. It was a clear indication of the growing interest in money in the world these days.

今年のテーマは「円のはじまり～旧一圓銀貨 明治 3 年～」です。新しい時代、貨幣単位も両から円へと変わり、加納夏雄のデザインの旭日図・龍図の貨幣が生まれました。歴史を象徴するこの貨幣の一大展示が今回、収集家の皆様のご協力により実現しました。稀少な貨幣の数々をぜひご覧ください。

The theme of this year's exhibition is "The Beginning of the Japanese Yen --- Old One Yen Silver Coins in 1870 (Meiji 3) ---". With the dawn of the new Meiji era (1868 - 1912), the monetary unit has changed from Ryo to Yen. A new coin with Rising Sun and Dragon designed by Natsuo Kano was born. A major exhibition, symbolizing history, has now been realized with the collectors' cooperation. We urge you to take a look at these rare coins at the exhibition.

ゴールデンウィークのひと時を、東京国際コイン・コンヴェンションでお楽しみ下さい。ご来場をお待ちしております。

Why don't you visit and have an enjoyable time at the Tokyo International Coin Convention during the Golden Week holidays? We look forward to seeing you soon.



THE ROYAL MINT®
THE ORIGINAL MAKER



Celebrating 95 Years of Heart and Devotion

The 95th Birthday of Her Majesty The Queen

royalmint.com

SILVER COINS 925

PROOF

4 REALES

Weight: 13.5 g

HISTORICAL TRAINS

LOCOMOTIVE BARCELONA - MATARO



8 REALES

Weight: 27 g

**V CENTENARY
OF THE FIRST CIRCUMNAVIGATION
OF THE WORLD**



**AGES OF EUROPE
GOTHIC**



**INTERNATIONAL WOMEN'S DAY
TRIBUTE TO EMILIA PARDO BAZAN**



UEFA EURO - 2020



PCGSはすべてのコインと紙幣のスラブに NFCチップを搭載しています 新たな偽造防止技術NFC



偽造防止機能を高めた新たなPCGSゴールドシールド・ラベル
詳細はPCGSasia.comをご覧ください

PCGS HONG KONG OFFICE

香港九龍尖沙咀廣東道33番地中港城
3座11層 11A-14室

Suite 11A-14, 11/F, Tower 3, China
Hong Kong City, 33 Canton Road,
Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong



PCGS ASIA
Facebook



Instagram
@pcgsasia



WeChat
Official Account

電話番号: +852 2194 6688

携帯電話: +852 6933 7411
(WhatsApp, LINE, WeChat)

メールアドレス: info@PCGSasia.com

ウェブサイト: www.PCGSasia.com



Hesse
Ludwig VIII., 1739-1768.
Gold medal in the weight of 8 Ducats n. d.
Of the highest rarity. Attractive, perfect piece.
Almost uncirculated.
Estimate: 15,000 Euros



Frankfurt
**Carl Theodor von Dalberg,
Fürstprimas des Rheinbundes, 1806-1815.**
Gold medal in the weight of 10 Ducats 1810, unsigned.
Very rare. Extremely fine.
Estimate: 20,000 Euros



Belgium, Brabant.
Franz I, 1745-1765. 10 Souverain d'or 1751, Antwerpen.
Very rare, especially in this condition.
Very attractive, perfect piece. Magnificent golden patina,
extremely fine-uncirculated.
Estimate: 100,000 Euros



City of Nuremberg
**6 Ducats 1698, on the occasion of the
annual celebration of the Peace of Rijswijk.**
Very rare, especially in this condition.
Attractive piece, extremely fine-uncirculated.
Estimate: 75,000 Euros

Highlights of our Summer Auction Sales

28 June – 2 July 2021
in Osnabrück, Germany

Have you inherited a collection and wish to sell your coins? We would be happy to provide information about consigning your coins to one of our auctions.

We uphold the highest standard of research and presentation in our catalogues. You may rest assured that your material will be showcased in a professional and attractive format to thousands of customers throughout the world.

The Künker Guarantee: When you purchase a coin, medal, medal of honor or other item, you can be sure: all the pieces correspond to their description, and we guarantee the authenticity without a time limitation!

您继承了一批收藏品，并希望出售其中的硬币？我们的任何一家拍卖行都很乐意为您提供委托拍卖信息。

我们的目录体现了研究和推广的最高标准，可以确保您的物品会以专业的、醒目的方式向世界各地成千上万的客户展示。

Künker 保证：如果您购买一枚硬币、奖章、荣誉奖章或其他物品，您尽可以放心：所有的物品与其商品描述完全相符，我们保证其真实性以及采购价格无时间限制！



Fabian Halbich
fabian.halbich@kuenker.de
Call +49 541 96202 0
www.kuenker.com

Fritz Rudolf Künker GmbH & Co. KG
Nobbenburger Straße 4a · 49076 Osnabrück
Tel.: +49 541 96202 0 · Fax: +49 541 96202 22
service@kuenker.de

LiveBidding at kuenker.auex.de

AUEX
AUCTIONEER

造幣局創業150周年記念特別展の開催



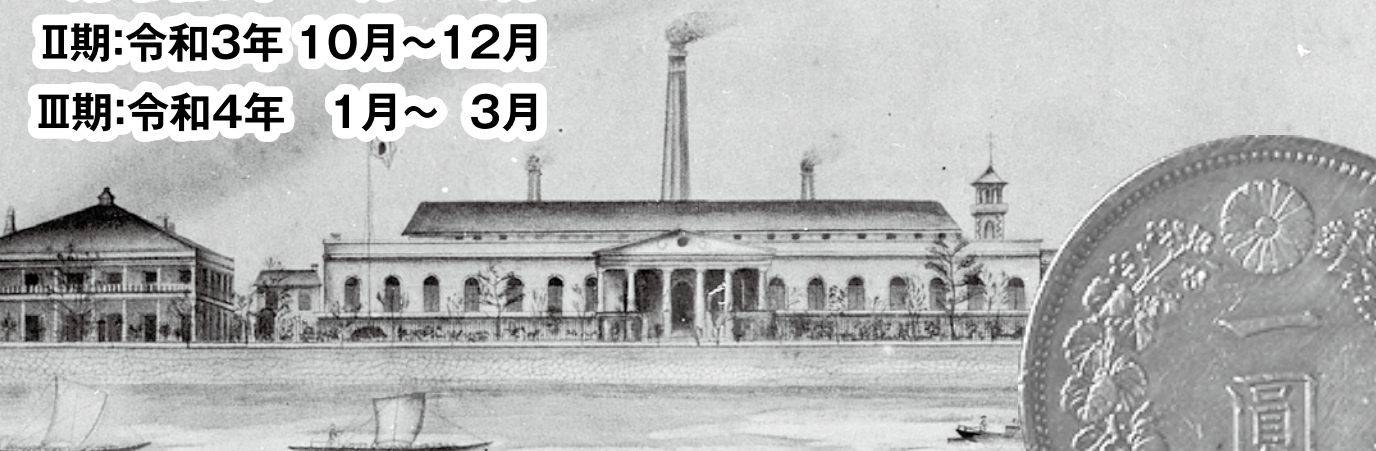
明治4(1871)年4月に大阪の地に誕生した造幣局は、令和3(2021)年4月で創業150周年を迎えます。この大きな節目の年を記念して、造幣局本局(大阪府)、さいたま支局(埼玉県)、広島支局(広島県)の各局において、年間3期に分けて特別展を開催します。

明治の創業時から、貨幣の製造をはじめとする各種事業を続けてきた造幣局の歴史、また、それぞれの時代とのつながりを通して、当時の技術や文化などを感じていただき、皆様が造幣局に興味を持っていただける機会になれば幸いです。

I期:令和3年 4月～ 6月

II期:令和3年 10月～12月

III期:令和4年 1月～ 3月



1.開催期間

【各局共通】令和3年4月29日(木・祝)から令和4年3月27日(日)まで

2.開催場所時間

【本局】造幣博物館(入館無料)

大阪市北区天満1-1-79

午前9時00分～午後4時45分(入館は午後4時まで)

【さいたま支局】造幣さいたま博物館(入館無料)

さいたま市大宮区北袋町1-190-22

午前9時00分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【広島支局】造幣展示室(入館無料)

広島市佐伯区五日市中央6-3-1

午前9時30分～午後4時00分

3.その他 各期の開催期間及び展示内容等の詳細は、今後、造幣局ホームページにおいて紹介します。

新型コロナウイルス感染防止の観点から、東京国際コイン・コンヴェンションを記念した貨幣セットをはじめ、造幣局製品の販売は行いませんので、予めご承知ください。

独立行政法人 **造 幣 局**

<https://www.mint.go.jp/>



「乙百円の誕生と図柄の変容」

昭和5(1930)年に発行された日本銀行兌換券乙100円(以下、乙100円券)は、初めて聖徳太子の肖像が採用されたお札として知られますが、その肖像は日本人が初めてデザインしたものです。また、聖徳太子にゆかりのある法隆寺宝物など日本古来の文様を元に図案化した図柄を多用し、従来にはなかったデザインのお札となりました。この乙100円券が発行された前後のお札を取り上げ、明治から昭和にかけて、お札の図柄がどのように変容したのかをご覧ください。



日本銀行兌換券 乙100円
昭和5(1930)年



初めて肖像を採用したお札
改造紙幣 5円
明治15(1882)年



伝統的な重厚感のあるデザインを採用したお札
日本銀行券 C10000円
昭和33(1958)年

ちょっと足を延ばして お札と切手の博物館



※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館時に検温、手指の消毒、マスクの着用をお願いしております。
状況によっては、臨時休館する場合もございますので、ホームページやお電話でご確認のうえご来館ください。

〒114-0002 東京都北区王子1-6-1 TEL 03-5390-5194

開館時間 9:30 ~ 17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)

アクセス JR京浜東北線 王子駅下車(中央口)徒歩3分

東京メトロ南北線 王子駅下車(1番出口)徒歩3分

都電荒川線(東京さくらトラム) 王子駅前下車 徒歩3分

* 駐車場はありません

<https://www.npb.go.jp/ja/museum/> お札と切手の博物館 検索

お札と切手の博物館

Banknote and Postage Stamp Museum

第32回東京国際コイン・コンヴェンション “スーベニアカード”

Official Souvenir Card for the 32nd Tokyo International Coin Convention is available at Insatsu Choyokai Foundation.

会場特別頒布 1,300円(税込)

*通常価格 1,600円(税込)

今回のスーベニアカードは、日本銀行兌換券
乙100円券をモチーフにしています。

また、同様のデザインで“図書カードNEXT”
2種類(和文・英文)も頒布いたします。



- 図書カードNEXT(和文・英文)
会場特別頒布
各950円(通常価格 各960円)



※TICCスーベニアカード及び図書カードNEXTの発行は、今回(第32回)をもって終了となります。

■幻の第31回東京国際コイン・コンヴェンション“スーベニアカード”及び
“図書カードNEXT”につきましても会場特別価格にて頒布いたします。



第31回東京国際コイン・コンヴェンション
国立銀行紙幣(旧券) 壹円券

- スーベニアカード 1,300円(税込)
- 図書カードNEXT 各950円
(和文・英文)

■新しいお札のタオル(3券種)



- フェイスタオル 各700円(税込)
- ハンカチタオル 各500円(税込)

一般財団法人 印刷朝陽会

Insatsu Choyokai Foundation

〒114-0016

東京都北区上中里2-30-2

Tel 03(3927)8796

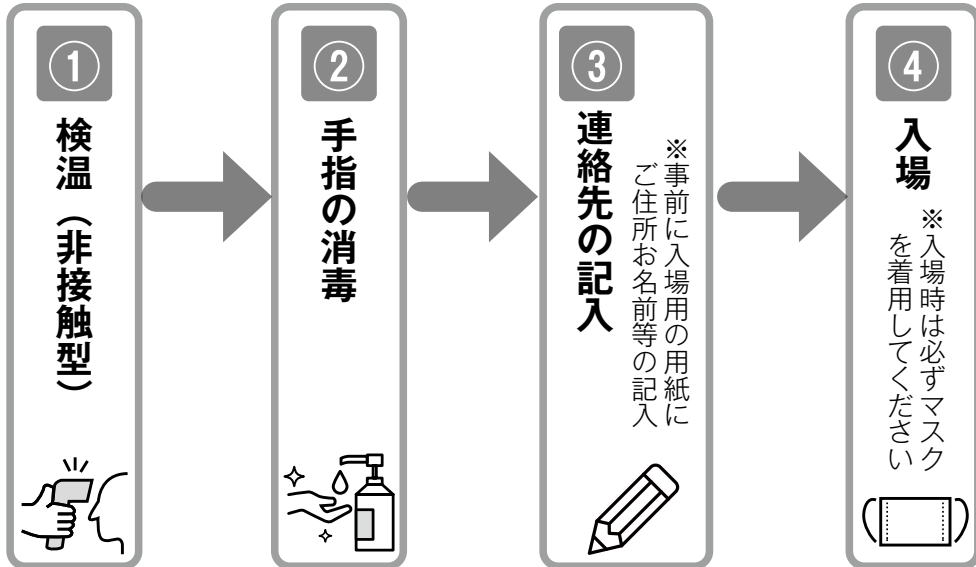
Fax 03(3927)8798

<http://www.choyokai.or.jp/>

※凹版印刷体験は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、本年は中止させていただきます。
ご理解の程お願い申し上げます。

ご入場までの流れ

新型コロナウイルス感染症予防のため、ご入場までの流れを大幅に見直しています。皆様にはご不便をおかけすることと思いますが、感染リスクを最小限に抑えるための取組みとなりますので、必ずご来場前に下記の事項についてご確認いただき、東京国際コイン・コンヴェンションで楽しんでくださいますよう、ご理解、ご協力をお願いします。ご来場時には予めご住所・お名前等をご記入済みの「会場へお持ちください」用紙、または、入場用紙（ホームページよりダウンロード）を必ずお持ちください。



※入場用紙をお持ちでない方は日本貨幣商協同組合ホームページ（www.jnda.or.jp）よりダウンロードの上お持ちください。

※混雑時は入場及び時間制限を行う場合がございます。

新型コロナウイルス 感染予防として お客様へのお願い

- ・入場の際は必ずマスクの着用をお願い致します。
- ※マスクを着用していない場合は入場できません。受付にて販売をしております。
- ・受付に消毒液を設置しております。入場の際は手指の消毒をお願い致します。
- ・受付で検温（非接触型）を行います。
- ※ 37.5 度以上の発熱がある方、倦怠感のある方、風邪の症状のある方につきましては入場ができません。
- ・受付でお名前、お電話番号の記入（入場用紙）又はDMに同封の「会場へお持ち下さい」の紙を必ずご提出下さい。
- ・会場内ではお客様同士の距離を十分にとって下さい。

目次

大会委員長挨拶	3
スケジュール・会場案内	13
ブース案内図	14
参加社名	15
展示品・企画品	16
特別販売品	17
円銀が来た道	岩橋 勝 … 20
B券からC券シリーズまでの日本銀行券の歩み	植村 峻 … 28

The 32nd TOKYO INTERNATIONAL COIN CONVENTION

コイン・コンヴェンションとイベントの日程 ロイヤルパークホテル 3 階
(ロイヤルホール)

5月1日(土)	10:00	一般開場	Exhibit Area opens to Public
	10:00～18:00	2F ミーティングルーム A 泰星オークション 下見	2F Meeting room A
	13:00～17:00	チャリティーくじ	
	14:00～15:30	クラウンルーム 講演(岩橋 勝先生)	Lecture(Dr.Iwahashi) Crown room
	16:00～17:30	クラウンルーム セミナー(日本貨幣協会)	Seminar Crown room
	18:00	閉 場	Exhibit Area closes

5月2日(日)	10:00	一般開場	Exhibit Area opens to Public
	10:00～14:00	2F ミーティングルーム A 泰星オークション 下見	2F Meeting room A
	10:00～18:00	2F Harumi 泰星オークション	Taisei Auction 2F Harumi
	11:00～	クラウンルーム 日本赤十字社 世界のコイン配布(チャリティー)	Crown room
	12:00～17:00	チャリティーくじ	
	14:00～15:30	クラウンルーム 講演(植村 峻氏)	Lecture(Mr.Uemura) Crown room
	16:00～17:30	クラウンルーム セミナー(外国コイン研究会)	Seminar Crown room
	18:00	閉 場	Exhibit Area closes

5月3日(月祝)	10:00	一般開場	Exhibit Area opens to Public
	11:00～	クラウンルーム 日本赤十字社 世界のコイン配布(チャリティー)	Crown room
	12:00～16:00	チャリティーくじ	
	14:00～15:30	クラウンルーム セミナー(日本近代銀貨研究会)	Seminar Crown room
	17:00	閉 場	Exhibit Area closes

コンヴェンション会場と交通機関

TICC

会場

ロイヤルパークホテル ROYAL PARK HOTEL

3F ロイヤルホール

Royal Hall 3rd Floor

〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1 TEL 03-3667-1111



今回も、東京の中心部日本橋・蛸殻町にあるロイヤルパークホテルにて開催されます。国際ホテルとして高いグレードを誇るロイヤルパークホテルの3階「ロイヤルホール」と「ホワイエ」にて国立印刷局をはじめ、海外の造幣局の展示や、国内・海外の参加業者の展示即売会が繰りひろげられます。

歴史的にもこの蛸殻町は、徳川幕府が享和元年(1801年)銀貨鑄造所を銀座2丁目から蛸殻町に移転させ、明治2年に造幣局ができるまでの68年間、銀貨の鑄造を行ったゆかりの地でもあります。

- 東京駅より2km(車で10分)。
- 地下鉄半蔵門線、東武伊勢崎線「水天宮前駅」に直結。
- 地下鉄日比谷線、都営浅草線「人形町駅」より徒歩5分。
- 東京シティー・エアターミナルに隣接。
- 車で成田空港へ60分、羽田空港へ30分。

実行委員
スタッフ

- 大会委員長
- 実行委員長
- 実行委員
(順不同)

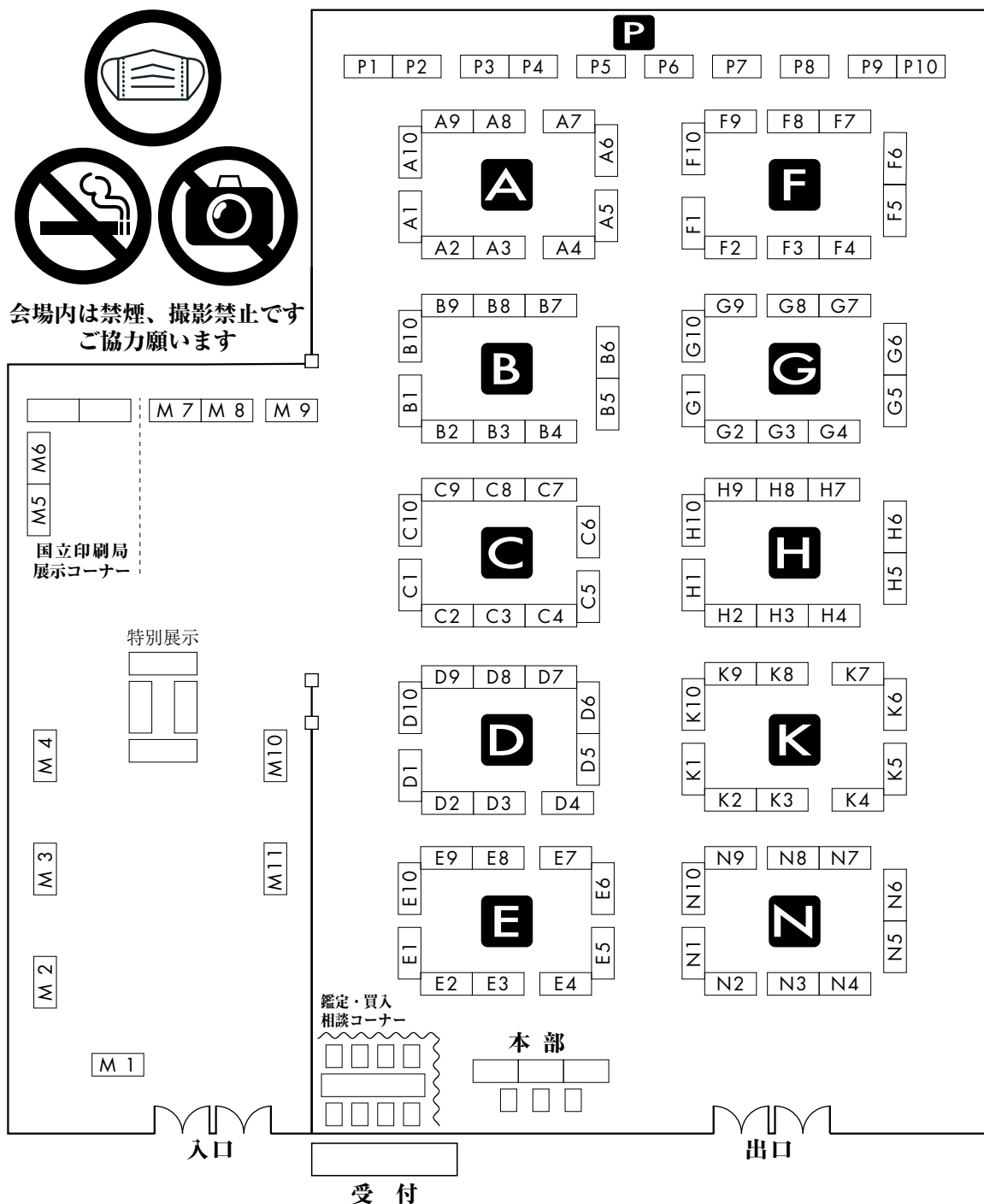
関口 寧 Yasushi Sekiguchi
高馬 大三 Daizo Koma
林 和実 Kazumi Hayashi
寺田 実 Minoru Terada
矢澤 幸一郎 Koichiro Yazawa

竹内 潤 Jun Takeuchi
野崎 祐一 Yuichi Nozaki
屋代 拓己 Hiroki Yashiro

第32回東京国際コイン・コンヴェンション

出展業者のブース案内図／EXHIBIT AREA INFORMATION

※新型コロナウイルス感染症対策のため、出入口は一方通行にご協力下さい。



第32回東京国際コイン・コンヴェンション 参加社名 TICC

造幣局関係

独立行政法人 国立印刷局	National Printing Bureau, Japan		M 5・6
英国王立造幣局	The Royal Mint		M 1
カナダ王室造幣局	Royal Canadian Mint		M 3
フランス国立造幣局	Monnaie De Paris		M 4
中国金幣総公司	China Gold Coin Inc		M 11
王立スペイン造幣局	Royal Spanish Mint		M 10
シンガポール造幣局	The Singapore Mint		M 2
一般財団法人 印刷朝陽会	Insatsu - Choyokai		M 7・8

海外参加社

エムディーシー・モネ・ド・コレクション (モナコ) MDC Monnaies de Collection		P 8
エヌジーシー・エヌシーエス・ピーエムジー (香港) NGC-NCS-PMG		D 4
ピー・シー・ジー・エス (香港) PCGS		C 6
スティーブン・アルバム・レア・コインズ (米国)		
Stephen Album Rare Coins		P 7

国内参加社

アカデミー商会	Academy Shokai, Co.Ltd.		H 7~10
アベノスタンプコイン社	Abeno Stamp Coin Co.		A 6・7
アローインターナショナル	Arrow International Co. Ltd.		A 1~3
アンティーリンク	Anty link, Inc.		F 1・2
ヴァンガードコイン	Vanguard Coin		E 8~10
薄井美術店	Usui Bijyutsu ten		G 7・8
永楽堂	Eirakudou		P 5
駅前コイン	Ekimae Coin Co.		A 8~10
カードショップトレジャー	CardShop Treasure		F 5・6
銀座コイン	Ginza Coins Co.		B 1~4
銀座ステラ	Ginza Stella Co. Ltd.		K 4・5
ケネディ・スタンプ・クラブ	Kennedy Stamp Club Inc.		H 1~4
コレクションハウス	Collection House		K 1~3
城南堂古美術店	Jhonando Kobijyutsu Ten		P 3・4
新橋スタンプ商会	Shinbashi Stamp Co. Ltd.		C 7~10
杉本梁江堂	Sugimoto Ryokodo		N 3・4
世界コイン	World Coins		P 9・10
セキグチ	Sekiguchi		B 7~10
世田谷スタンプコイン	Setagaya Stamp Coin		N 5・6
泰星コイン	Taisei Coins Corp.		D 5~10
大盛スタンプコーナー	Taisei Stamp Corner		H 5・6
大日スタンプ・コイン	Dainichi Stamp Coin		G 5・6
多摩コインクラブ	Tama Coin Club		F 9・10
ダルマ	Daruma International Galleries		G 1~4
寺島コイン	Terashima Coin		F 3・4
日郵コイン	Nichiyu Coin		N 7・8
ネットジャパン	NET JAPAN CO.,LTD.		E 4・5
野崎コイン	Nozaki Coin		K 8~10
八王子ムササビコイン	Hachioji Musasabi Coin		N 1・2
ファミリースタンプ	Family Stamp		B 5・6
フクオ	Fukuo		K 6・7
フクオスタンプ社	Fukuo Stamp Co.		N 9・10
松浦古銭堂	Orient Coin Center		A 4・5
ミントミントオークション	Mint Mint Auction		G 9・10
モリシタ	Morishita		D 1~3
大和文庫	Yamato Bunko		F 7・8
ユキオスタンプ	Yukio Stamp Co. Ltd.		E 1~3
ロイヤルコイン	Royal Coins Co.		P 1・2
ワールドコインズ・ジャパン	World Coins Japan		C 1~5
ワタナベコイン	Watanabe Coin		E 6・7
GBCA (公博鑑定)	GBCA		P 6
書信館出版	Shoshinkan Publication Co. Ltd.		M 9
日本貨幣商協同組合	Japan Numismatic Dealers Association		本部

東京国際コイン・コンヴェンションでは毎年多くの海外造幣局、ディーラーのご出展を頂いておりますが、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策措置（ビジネストラック・レジデントラック等の一時停止）の影響もあり、出展数が減少しております事をお知らせいたします。

第32回東京国際コイン・コンヴェンション 特別展示品 TICC

「円のはじまり ～ 旧一圓銀貨 明治3年～」と銘打った特別展示です。

全国の収集家のコレクションが一堂に集まります。

国内最大の東京国際コイン・コンヴェンションならではの、豪華な展示となりました。

1. 一円銀貨・貿易銀 名品各種の展示

一円銀貨・貿易銀の稀少手替りや完全未使用状態等、どれもがその入手に困難を極める銘柄の数々が勢揃いします。展示品は全国の収集家のコレクションです。

2. 歴代オリンピック記念貨幣の展示

1952年ヘルシンキ大会から東京2020オリンピック大会まで世界各国の歴代オリンピック記念貨幣を多数展示いたします。各種競技やマスコットキャラクターのモチーフ、歴史や文化を窺い知ることができるデザイン等、開催国により多彩なバリエーションとなっています。歴史に残る記念すべき瞬間の数々を思い出しながらか覧ください。

第32回東京国際コイン・コンヴェンション 企画品 TICC

今年の「東京国際コイン・コンヴェンション貨幣セット」の
販売はございません。

日本近代銀貨チェックリスト

ご来場のお客様に
無料進呈いたします！

「日本貨幣カタログ」の分類に合わせて作成したもので、図版を豊富に記載し、非常にわかりやすくチェックできるようになっています。

※写真は参考です、実際のデザインとは異なる場合がございます。



国立印刷局

TICC第32回記念 スーベニアカード

今年で
30年目の
発行

詳しくはP11を
ご覧下さい。

¥1,300
(税込)



入場者全員の中から抽選で豪華賞品が当たります

期間中、入場者全員の中から抽選で豪華賞品をプレゼント！応募用紙は、入場用紙またはダイレクトメールに同封されている住所確認表です。

●TICC 金賞 2名様



旧1円銀貨 日本貨幣商協同組合鑑定書付

●TICC 銀賞 5名様(各1点)



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会記念千円銀貨幣

●TICC 銅賞 10名様



第32回TICC記念クオカード

※抽選結果は後日、発送をもってかえさせていただきます。また「収集」6月号にて発表致します。

※画像はイメージです。

チャリティーくじの開催方法変更のお知らせ TICC

毎年開催しております、会場内でのチャリティーくじは、新型コロナウイルス感染対策の為、後日抽選をする形に変更となります。参加方法は下記の通りとなりますことをお知らせいたします。ご理解の程お願い申し上げます。

1. 本部にてチャリティーくじの抽選用紙を受け取る。
その際寄付をお願いしております。
2. ご住所、お名前等を記入の上、抽選箱へ投函してください。
3. 後日、当選の方には賞品を発送させていただきます。

チャリティーくじ 応募用紙の引き換え時間

5月1日(土)	13:00～17:00
2日(日)	12:00～17:00
3日(月・祝)	12:00～16:00

第32回東京国際コイン・コンヴェンション 特別販売品 TICC

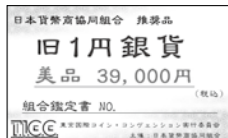
旧 1 円銀貨

明治政府により対外貿易専用銀貨として製造されました。名工 加納夏雄が図案から極印まで手掛けたこの銀貨は、迫力ある大きさと天皇の象徴である竜図、太陽の図である旭日が配された人気の一品です。

美品以上のものに日本貨幣商協同組合推奨プレートをお付けしております。



※写真はイメージです。



プレート付

美品
日本貨幣商協同組合鑑定書付

39,000 円 (税込)

江戸時代の銀貨幣 2点セット

天保一分銀、嘉永一朱銀は江戸時代後期に製造され、本来金貨幣の単位である「分」「朱」が用いられました。一朱銀 4 枚で一分、一分銀 4 枚で小判 1 枚と同じ一向に相当しました。裏面にある常とは大黒常是家を示すものです。

日本貨幣商協同組合の特製ケースに入れてご提供いたします。



※写真はイメージです。

組合特製ケース入

4,500 円 (税込)

東京五輪千円銀貨

日本最初の記念コインとして人気の高いこの千円銀貨は日本中がオリンピック人気で湧きかえっていた昭和39年に発行され、その後の空前のコインブームの火付け役となりました。



※写真はイメージです。

未使用

2,000 円 (税込)

伊藤博文千円札

当時最新鋭の印刷設備を導入し昭和38年に発行されました。それまでの紙幣とは一線を画す明るい印象のデザインが取り入れられています。記番号が一巡したのはこの紙幣が初めてで、記番号の色が黒色から青色へ変更されました。

未使用品を特別価格にて販売いたします。



※写真はイメージです。

未使用

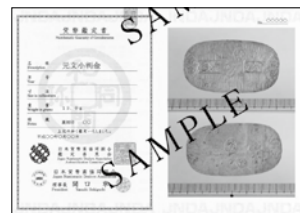
1,500 円 (税込)

大切なコレクションに鑑定書をつけませんか？

鑑定を依頼する

日本貨幣商協同組合には、皆様のお手持ちの貨幣に鑑定書を発行する鑑定委員会がございます。

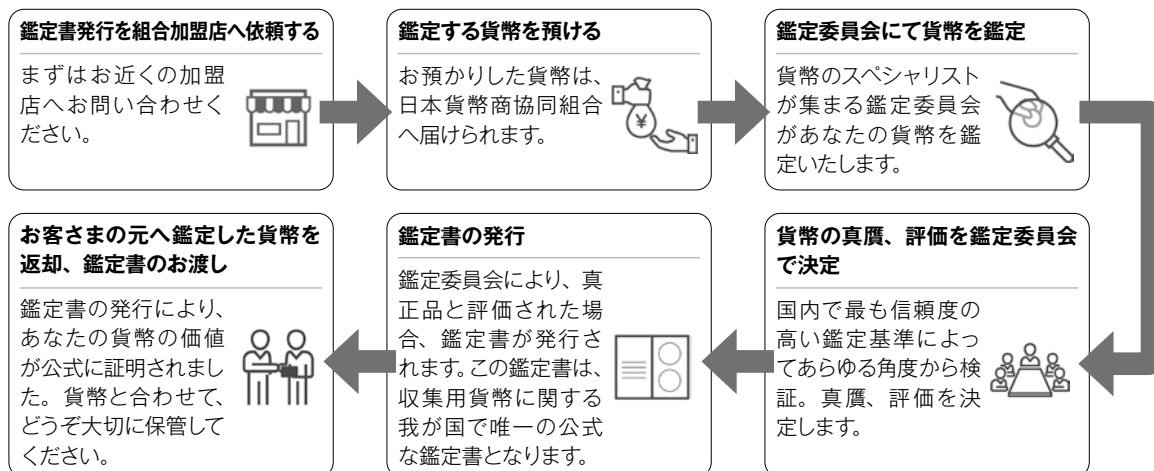
この鑑定書は、収集用貨幣に関する**我が国で唯一の公式な鑑定書**です。貨幣の正しい評価やコレクション充実の為、また次世代に受け継ぐ為に大切なコレクションに鑑定書をお付けになる事をお薦めしております。鑑定書発行の受付は全国の組合加盟店でご相談下さい。



鑑定書見本

(日本貨幣商協同組合オリジナルケース入)

鑑定書が発行されるまでの流れ



※鑑定書発行にかかるお時間は、2週間～2ヶ月となります。その間、鑑定する貨幣はお預かりさせていただきます。

鑑定書を発行出来ない貨幣の一例

- ・日本で発行されていない貨幣（外国貨幣など）
- ・現在の法定通貨として通用している貨幣（現行貨幣）＜例：記念コイン、通常の流通貨幣、廃貨になっていない昔のお金など＞
- ・現状の状態が著しく劣化している貨幣や、加工してあるもの
- ・修正品など

鑑定書料金表

鑑定品の価格（時価）			鑑定料（税込）
1.	100,000円未満	（10万円を含まず、以下同じ）	5,500円
2.	100,000円以上	500,000円未満	11,000円
3.	500,000円以上	1,000,000円未満	16,500円
4.	1,000,000円以上	2,000,000円未満	33,000円
5.	2,000,000円以上	5,000,000円未満	55,000円
6.	5,000,000円以上	10,000,000円未満	110,000円
7.	10,000,000円以上		165,000円

※なお、にせ物、鑑定不能品については申し込み手数料として1品につき5,500円（税込）を申し受けます。

日本貨幣商協同組合には皆様のお手持ちの貨幣に鑑定書を発行する鑑定委員会がございます。この鑑定書は収集用貨幣に関する、我が国で唯一の公式な鑑定書です。貨幣の正しい評価やコレクション充実のため、お手持ちの貨幣に鑑定書をお付けになることをお薦め致します。詳細やお申込みは組合加盟店でご相談下さい。

TICC2021 特別講演

ロイヤルパークホテル3階クラウンルーム TICC

特別講演、収集家団体のセミナーへご参加の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策の為に、会場入口にて検温、マスクの着用をお願いしております。また、会場内では大きな声での会話を控えて頂きますようお願い致します。

特別講演においては、会場内の密を避けるため、参加人数を調整させて頂く場合があります。また、収集家団体のセミナーも同様に、混雑具合により調整させて頂きますので、ご理解の程お願い申し上げます。

5月1日(土)
14:00~15:30 「円銀が来た道」

松山大学名誉教授

岩橋 勝(いわはし まさる)



【略歴】

1941年生まれ。1967年大阪大学大学院経済学研究科中退、1983年経済学博士(大阪大学)。大阪大学経済学部助手を経て、1969年松山商科大学(現、松山大学)赴任、教授を経て2012年退職。この間、社会経済史学会理事、貨幣史研究会代表などを歴任。

【主要著作】

『近世日本物価史の研究』(大原新生社、1981年)、『日本のお金の歴史 江戸時代』(ゆまに書房、2015年)、『近世貨幣と経済発展』(名古屋大学出版会、2019年、第18回徳川賞)、編著に『貨幣の統合と多様性のダイナミズム』(晃洋書房、2021年)など多数。

5月2日(日)
14:00~15:30 「B券からC券シリーズまでの日本銀行券の歩み」

紙幣研究家、
一般財団法人印刷朝陽会 事務局長

植村 峻(うゑむら たかし)



【略歴】

昭和10年生まれ、昭和33年都立大学卒業、大蔵省印刷局勤務、平成元年大蔵省印刷局滝野川工場長、平成3年印刷局業務部長、平成6年退職、平成10年(財)印刷朝陽会専務理事、平成19年(財)印刷朝陽会事務局長・調査研究部長

【主要著作】

『世界の銀行券』(印刷局朝陽会、1987年)、『日本紙幣の凹版彫刻者たち』(印刷局朝陽会、2010年)、『お札のはなし』(印刷局朝陽会、2015年)、『日本切手の凹版彫刻者たち』(日本郵趣協会、2015年)、『紙幣肖像の近現代史』(吉川弘文館、2015年)、『日本紙幣の肖像やデザインの謎』(日本貨幣商協同組合、2019年)、『贋札の世界史』(角川書店、2020年)など多数

収集家団体の有志によるセミナー

ロイヤルパークホテル3階クラウンルーム TICC

5月1日(土)
16:00~17:30 「安南銭の収集の楽しみ方」

日本貨幣協会

【内容】「安南銭美旗大鉄」の収集を通して学んだベトナムの歴史と社会を紹介します。

5月2日(日)
16:00~17:30 「古代コインの収集について」

外国コイン研究会

【内容】古代~中世コインのベテランコレクターである須藤智夫氏より歴史的背景を踏まえて、古代コイン収集の着眼点や楽しみ方をご紹介します。

5月3日(月・祝)
14:00~15:30 「よろず相談会33」

日本近代銀貨研究会

【内容】近代銀貨なんでも相談、旧円銀&貿易銀の最新手変り紹介と手変り入門資料を配布致します。

日本貨幣商協同組合主催催事スケジュール

●大阪 「第19回大阪コインショー」 会期:6月18日(金)~20日(日)
場 所:OMMビル2階Aホール

●名古屋 「第3回名古屋コインショー」 会期:9月18日(土)~20日(月)
場 所:ウインクあいち6F 展示場

●大阪 「第51回おおさか大収集まつり」 会期:10月1日(金)~3日(日)
場 所:心斎橋御堂筋ビル9F

●東京 「第19回東京コインショー」 会期:11月12日(金)~14日(日)
場 所:大手町サンケイプラザ3F

○催事案内ご希望の方は、組合までお葉書でお申込み下さい。東京都港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル409
TEL.03-3508-1701 FAX.03-3593-1029

円銀が来た道

(松山大学名誉教授) 岩橋 勝

はじめに

「円銀」とは1871(明治4)年5月公布の新貨条例に先だつ前年、対外貿易専用に1874年以降図柄を変えて鑄造・発行した「新1円銀貨」と区別するためにつけられた旧1円銀貨の名称です。

この1円銀貨の誕生には、当時の新政府の迷走ぶりがいろいろと現れています。

まず、①「円の誕生」は1871年とされていますが、「円銀」表面をよく見ると「明治3年」と刻印されています。いったいなぜ円貨を正式に発行する前の年号を明示したのでしょうか。そして、明治維新とともにすべてが「一新」されたわけではなく、明治改元後しばらくは一般の取引において旧幕府時代の「両・分・朱」の単位が使われたことはよく知られていますが、そもそも「円」呼称はいつからどのようにして始まったのでしょうか。

②明治の貨幣制度が始まる前の江戸期幣制=三貨制度のもとでは、17世紀初めころこそ金貨と銀貨がバランスよく流通していましたが、17世紀半ばまでには急速に銀貨が大量流出し、さらに18世紀後半期からは少なくなった銀貨を鑄潰して「銀製金貨」(その先駆けが1772年発行の「南鐐二朱銀」)を発行拡大して行きましたので、幕末までには国内で流通する金銀貨の比率は大半が「金貨」のみと言ってよい状況となっていました(表1)。にもかかわらず、近代国家の出発時に中軸貨幣として、なぜ銀貨が選択されたのでしょうか。

③近代貨幣制度の始まりとなる「新貨条例」公布は1871年でしたが、じつは明治改元期(1868年9月8日)より新政府は経済政策の基本となる新貨幣制度の在り方を検討しており、翌1869年にはすでに銀本位制でいこう、という方針を固めていました。ところが、その方針により進めていた新制度実施直前になって、急遽、金本位制実施に転換しています。このような重要な方針をなぜ変更しなかったのでしょうか。

以上の3つの疑問点をあきらかにするには、どうしても日本を取り巻く東アジアの動向のみならず、ヨーロッパやアメリカ大陸の銀をめぐる歴史的状況にも目を移さなければなりません。今回はそうしたグローバルな事情から「円銀誕生」にいたる経路をたどってみましょう。



旧1円銀貨



新1円銀貨

写真1

表1 徳川期金銀貨構成の推移

改鑄開始年 年	金貨 千両	計数銀貨 千両	秤量銀貨 千両	合計 千両
1695(元禄8)	10,627(66)		5,467(34)	16,094(100)
1710(宝永7)	15,050(58)		10,755(42)	25,805(100)
1714(正徳4)	19,405(52)		18,120(48)	37,525(100)
1736(元文1)	10,838(52)		10,204(48)	21,042(100)
1771(明和8)	19,114(68)		8,600(32)	27,714(100)
1818(文政1)	19,114(66)	5,933(20)	4,208(14)	29,255(100)
1832(天保3)	23,699(52)	16,804(36)	5,361(12)	45,864(100)
1858(安政5)	28,315(54)	20,536(39)	3,902(7)	52,750(100)
1869(明治2)	74,321(57)	52,392(41)	2,344(2)	129,057(100)

出典：岩橋勝『近世貨幣と経済発展』名古屋大学出版会、2019年。

注：1 金銀貨流通量カッコ内は構成比率。

2 秤量銀貨両建て換算は、1858年まで60匁、1869年は90匁替え。

1 円銀の素材はどこからまかなわれたか

1871年2月に開業式を挙げた大阪造幣局(当時は「造幣寮」)は、すでに旧幕末期の1866年に英米ら4国と結んだ改税約書に基づいて、金座・銀座に代わる政府直轄の金銀鑄造所設置の方針が決められており、新政府がその方針を継承して68年より工場建設に着手していました。その設置場所は明治政府の直轄諸施設のうちでは唯一といってよい、東京以外の大阪でした(その理由は、京都から遠隔で、旧勢力が周辺に多く残存する東京ではなく、より近くて安全な大阪に新しい都を・・・という議論が新政府内に当時あり、大久保利通が強く推したといわれています)。開業の前年秋には銅貨や銀貨の試鑄ができるようになり、いつでも操業できる状況にありました。71年5月に公布する新貨条例に合わせて準備された金銀貨のうち、もっとも鑄造枚数の多かったのが旧1円銀貨の368万枚余、ついで旧10円金貨の186万枚余でした。金額的には10円金貨の方が多かったわけですが、量目(大きさ)は1枚あたり1円銀貨の方が6割余も多かったので、新鑄造にあたりその素材をどのように獲得するかということが問題となります。

新通貨鑄造にあたり、通常は政府(幕府)蓄蔵の地金を使用するか、旧通貨を回収してそれを鑄潰して新しく鑄造するのですが、政権を奪取したばかりの新政府に貯蔵地金はなく、旧通貨を改鑄する余裕もありませんでした。とくに、銀貨の場合、旧幕府時代に改鑄するさいの主要な方式であった、品位を落として、その改鑄差益で改鑄費用をひねり出すということがすでに限界に達していたのです。そして、何よりも当時の日本をとりまく東アジアの状況から、銀貨については品位が90%近く、量目も相応の重さがあった洋銀(メキシコドル)を下回らないものを鑄造しなければなりません。いわば、洋銀に代わり、それを超える国内の基軸通貨として1円銀貨が求められたのです。

当時の国内流通の主流通貨は万延二分金と一分銀でしたが、この2種は維新後も新政府によって暫定的に増鑄されるほど国民に定着していました(表2)。円銀の鑄造源として期待される、江戸時代の銀貨の中軸であった秤量銀貨である丁銀・豆板銀はすでに微量しか残っておらず、しかもその大半は民間の商家や富農層で退蔵されていました。他に期待される計数銀貨は一分銀だけでも純銀量にして1,000トン以上も流通していましたが、これでも通貨不足気味で、回収して改鑄素材にすることは困難でした。では、旧1円銀貨は何を素材に新鑄されたのでしょうか。

旧1円銀貨鑄造量は記録によるかぎり、3,685,049枚となっており、その純銀量は90トン足らず(品位90%、1枚量目26.96g)にすぎません。当時の国内秤量銀貨残高(推計で純銀量にして約195トン)をある程度回収できれば新鑄可能でしたが、急速な対応が求められており、結局は第3の素材獲得が求められたと考えられます。その素材こそ、幕末期に金銀比価の大きな開きから大量に流出した金貨(おもに、天保小判・一分判)と引き替えに流入した洋銀でした。

すなわち、安政開国(1859年)と同時にそれまで民間では禁じられていた外国貿易がはじまりますが、当初外国商人が目をつけたわが国の商品は、生糸でも茶でもなく、金貨でした。当時の東アジアでは金銀比価が3世紀くらいにわたっておおむね1:15くらいで推移したのに対し、17世紀前半における国内銀貨の大量流出と銀山の枯渇化、その後200年余り続けられた「鎖国」政策により、開国期ころには1:5くらいにまで、日本が金安、銀高となっていたのです。この金銀比価の動きは、三貨制度のもとでの小判と丁銀との交換相場と理解されやすいのですが、実際は当時おもに流通していた天保小判と天保一分銀に含まれる純金と純銀の交換相場

表2 旧制金銀銭貨流通概額(明治2年現在)

種 別	旧 貨 幣 額	新貨に換算した額
金 貨		87,610,652 円 805
天保二朱判	7,444,638 両 3 分 2 朱	22,147,309 円 307
安政小判・一分判	74,170 両 1 分	264,998 円 065
安政二分判	2,110,129 両	4,093,911 円 916
万延大判	17,097 枚	492,904 円 458
万延小判・一分判	625,050 両	831,020 円 851
万延二分判・二朱判	53,240,576 両	59,105,531 円 232
明治二分判		
* うち明治二分判	(3,201,643 両 2 分)	
*明治劣位二分判	608,000 両	674,976 円 976
銀 貨		68,275,313 円 023
天保一分銀	11,010,100 両	15,609,525 円 230
嘉永一朱銀	9,952,800 両	12,034,657 円 034
安政丁銀・豆板銀	79,051 貫	1,608,525 円 230
安政一分銀	28,379,600 両	36,146,358 円 650
安政二朱銀	6,700 両	25,466 円 499
*明治亜鉛差一分銀	1,066,833 両 2 分	1,358,798 円 091
*明治吹継一朱銀	1,171,400 両	1,491,981 円 724

でした。つまり、一分銀は4個で小判と交換できるわけですが、当時の小判に含まれる金は6.4g、一分銀4個に含まれる銀は34.1gでしたから、金銀比価が、1:5.3となるわけです。(写真2)

洋銀1枚は開国前の外国との貨幣交換協定により一分銀およそ3個とされました。国外では洋銀4/3(一分銀4個)枚で交換できる金は2.3g前後にすぎなかったので、だれが考えても洋銀を日本に持ち込み、一分銀と交換し、その4枚で小判を求め、海外でふたたび洋銀と交換すれば当初の洋銀がおおよそ3倍の

価値をもつようになることはあきらかでしょう。このようにして大量の小判が流出したのですが、その量は80万両とも150万両とも推計されています。かりに100万両も流出したとすれば、対価として流入した洋銀は133万枚、含有銀量はおよそ32トンになります。旧1円銀貨新鑄素材にするにはまだ不足ですが、じつは金貨以外の生糸・茶等の輸出品対価として流入した洋銀も相当にありました。幕府や諸藩がこの時期輸入した戦艦・武器の支払いにあてられて相殺された分もありますが、記録によるかぎり、開国後1867年までの14年間はずっと出超だったため、この間に国内で蓄積された洋銀はかなりなものであったと考えられます。このように、旧1円銀貨創鑄に直面して、新政府が鑄造源にあてたのは、国内流通の銀貨よりも、幕末期に大量流入した洋銀が中核となったわけです。



写真2 メキシコドル(洋銀)

2 19世紀以前の世界の銀流通事情

近代日本経済の基盤となる円銀が、かつて世界有数の銀産国でもあったわが国内の銀ではなく、洋銀(メキシコドル)であった事情を検討する前に、世界における銀流通の歴史を簡単に見ておきましょう。

銀はBC3000年ころより人類が使用するようになったといわれ、古代での利用され始めでは金よりも高価でした。古代エジプト・インドでは金の素材に銀メッキされた装飾品が確認されており、これは金が自然金で採取できたのに対して自然銀はまれで、一定の精錬法

があみだされるまでは利用量が限られていたためです。それでも古代ギリシャのころにはアテネで銀山が開発されるなどして有力ポリス国家台頭の要因となっています。ローマ帝国期には中東～地中海でドラクマ貨が広く流通するようになり、小額のデナリウス銀貨やイスラム世界ではディルハム銀貨も紀元前後期にあらわれ、それらの名称が地域によっては現代でも貨幣単位として使用されています(写真3)。

古代いらい銅銭中心であった中国は13世紀にモンゴル帝国に吸収されて台頭し、東西ユーラシアの政治・経済統合をはかった以降、銀建て決済も並行して行うようになり、世界的に銀不足にも直面するようになりました。しかし、同帝国崩壊後の14世紀以降は世界史的な経済拡大は16世紀まで待たねばなりません。16世紀半ばにおける南米ポトシ銀山とわが国石見銀山がその後の活況を開いたとされています。ただし、その扉を開いたのはやはりヨーロッパ人で、1518年ボヘミア(現チェコ)のヨアヒムスターラーと呼ばれる大型銀貨の鑄造開始が画期となります。15世紀末以降、フッガー家が南ドイツ銀山を手がけた勢いの延長とされています。(ちなみに、上述「ターラー」は現代国際通貨「ドル」呼称の淵源)

1545年に現ボリビアの原住民によって発見されたポトシ銀山(写真4)は、採掘総量の規模からその後の世界の銀流通と用途を大きく変えるものでした。金にくらべて採掘に手間を要する銀でしたが、スペイン人は新大陸で混汞法という水銀を用いた精錬法で効率的に産出高を上げたからです。(この水銀使用のため、採掘に従事した先住民族の多くが中毒のため落命した歴史も…。ただし、ポルトガル人が開発した灰吹き法によって1533年から採掘のはじまる石見銀山では、こうした中毒とは無縁でした。)ポトシ銀は最盛期(1581-1600



テトラドラクマ銀貨
Tetradrachm (Shilver)
古代ギリシャ 紀元前 449～413年
Athenes, Ancient Greece 449～413B.C.
23×24mm



デナリウス銀貨
Denarius (Shilver)
古代ローマ 紀元前 140～135年
Ancient Rome 140～135B.C.
直径(Diam.)19mm

写真3

年)には当時の世界産高の半分以上を占める年間平均 254 トン産出という推計もあります。19 世紀初頭に主流となるメキシコ銀も 1497 年より採鉱は始まっていますし、石見銀山を中軸とするわが国産銀も 1600 年ころには年間 200 トンを越えたとの研究もあって(小葉田淳 1968)、銀が得られにくかった日本以外の世界において装飾品や生活用具、あるいは国際通貨として銀が広く用いられるようになります。

ポトシ銀山より歴史の古いメキシコ銀山は大平洋沿いの山脈に多数存在し、とくに首都メキシコシティの西北西約 600km 離れたサカテカス銀山(写真 5)と、その中間部にあるグアナフアト銀山が知られています。当初は南米銀とともにピラドールといわれるスペイン銀貨(写真 6)として作られていましたが、1821 年にメキシコが独立すると、鷲をデザインしたものに換えられ、19 世紀末まで「メキシコドル」として世界で広く流通するようになります。そのようになった理由は、それが 16 世紀の当初からスペインの 8 レアル銀貨の標準である 1 枚約 27g、品位 90% に合わせて作られ、古くより国際通貨として安定的に使われていた経緯がありました。19 世紀末にかけて、その量目・品位は 1～3% ほど低落することもありましたが、後述のように同時期のアメリカ、日本、中国などがグローバル化する際の独自通貨铸造の際の基準となっていくます。なお、メキシコドルは 19 世紀にかけて約 35.5 億ドル铸造されたといわれ、これによれば素材としての銀はおよそ 8 万 6 千トン(新大陸最盛期年間産銀量およそ 400 トンの 200 倍以上!)もがあてられたことになります。

わが国の銀山はすでに古代より対馬で銀採掘の記録はありますが、陸奥などの金にくらべるとはるかに少量でした。16 世紀前半より、各地戦国大名による銀山開発が進み、徳川幕府は慶長小判(1,400 万両)とともに慶長丁銀・豆板銀(120 万貫目)を基準銀貨として大量に铸造します。この慶長銀を当時の公定相場 1 両 = 50 目で換算すると 2,400 万両となり、あきらかに当時、国内で銀が潤沢に流通していたことがうかがわれます(60 目換算でも、2,000 万両)。慶長銀以外にも各地で領国銀(写真 7 出羽窪田銀)といわれる大名独自の銀貨や、灰吹き銀(写真 8 石州銀)といわれる精錬時の素材のまま(したがって、ほとんど純銀)での銀流通も見られますので、幕府公定金銀相場 50 目はなかなか守られず、当初より後の基準相場となる 1 両 = 60 目前後であったよ

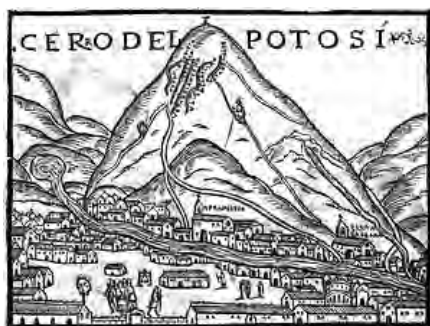


写真 4 16 世紀ポトシ銀山



写真 5 エデン鉱山 サカテカス銀山



写真 6 スペイン銀貨 1768 年

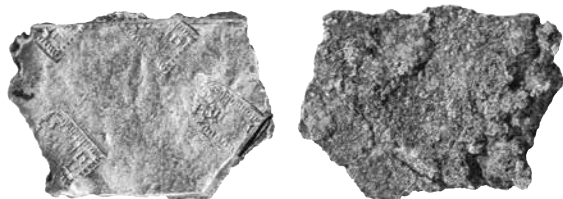


写真 7 出羽窪田銀

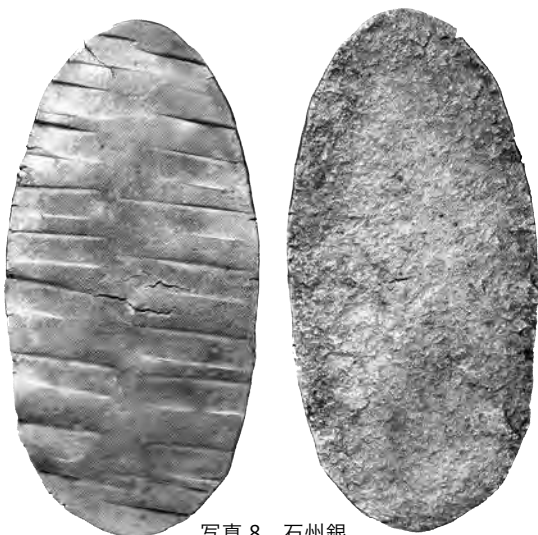


写真 8 石州銀

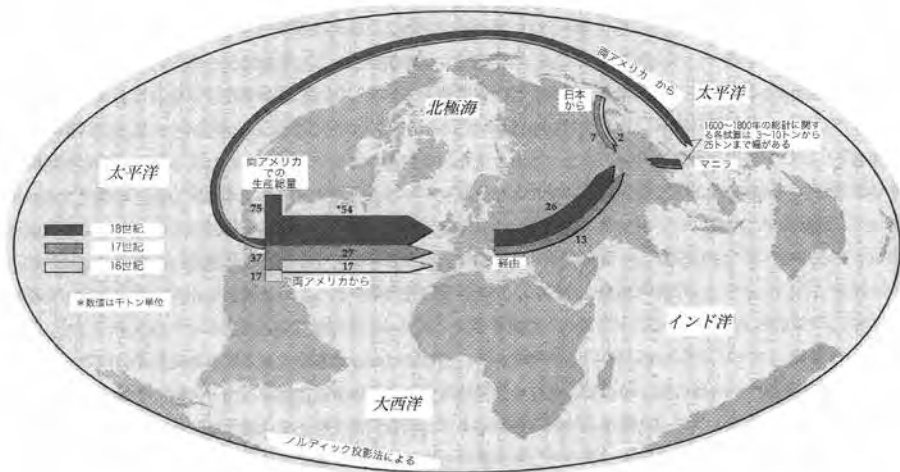


図1 17-8 世紀 世界の銀流通

うです。幕府金銀貨の時期別構成比率は表1に示したとおりですが、同表では示していない17世紀には、そういうわけで金貨よりも銀貨の方がはるかに多く出回っていたはずですが、ところが、統計的に明確となる元禄改鋳直前の金銀比率を見ると、銀貨が異常に少なくなっています。これはどういうわけでしょうか。

幕府による三貨制度は権力基盤が確立した関ヶ原の戦い（1600年）後、ただちに整備されたわけではなく、領内に金銀山をもつことが許された若干の大名領で発行された金銀貨が最終的に慶長金銀貨に吸収され、寛永通宝が全国におおむね普及した寛文年間までおよそ70年間を要しました。また、この間に「鎖国」化をはかりましたが、慶長金銀貨は東アジアの金銀事情と無縁ではすみませんでした。一番大きな影響は、慶長銀貨の大量流出です。表3は16～17世紀中国、日本、スペイン3か国の金銀比価を示していますが、これにより明確なことは中国が当時つねに金安銀高であったこと、日本は16世紀後半より17世紀前半にかけて銀安が進んでいたこと、そして新大陸から大量な銀流入のあったスペインは16世紀後半にすでに銀安が定着し、17世紀に入ってさらにややそれが進んだことがわかります。この3か国の状況を見るだけでも銀がどのように動いたか、明確でしょう。日本銀のみならず、世界の多くからの中国への銀の大量流入です。

この時期の世界における銀の動きについては、A.G. フランクによる推計がよく用いられています（図1）。16世紀に新大陸の植民地化を進めたスペインは、そこで翌世

紀にかけて5万4千トンもの銀を採掘しました。その多くは本国に送られ、それを財源としてスペインがヨーロッパの強国となったことは世界史の授業で語られています。ただし、その後の銀の動きはさほど授業で説明されていません。本国に流入した銀の多くはスペイン王室の消費を通してヨーロッパ諸国にあふれたので、銀の価格が下落し、全域的に「価格革命」という封建諸侯等支配階級没落の要因となります。かわって台頭したのが遠隔地交易を進めた商人です。流入銀の多くはヨーロッパ内相互地域の取引にも使われましたが、当時人気の高かったアジア産品（東南アジアの香料、インド木綿、中国の生糸・絹・陶器等）にも向けられたのです。中国以外のアジア諸国では独自の産物を輸出しますが、最終的に中国産品がこれらの地域にも流入し、結果として中国にはヨーロッパから流出した銀の大半が流入することに

表3 16～17世紀の金銀比価

	中国	日本	スペイン
1566	—	—	12.12
1568	6.00	—	12.12
1571	—	7.37	12.12
1572	8.00	—	12.12
1575	—	10.34	12.12
1581	—	8.92	12.12
1588	—	9.15	12.12
1589	—	11.06	12.12
1594	—	10.34	12.12
1596	7.50	—	12.12
1604	—	10.99	12.12
1609	—	12.19	13.13
1615	—	11.38	13.13
1620	8.00	13.05	13.13
1622	—	14.00	13.13
1627-44	10.00-13.00	—	13.13-15.45
1643	—	—	15.45

なります。ここで「結果として」と記したのは、中国の上記産品はヨーロッパだけでなく、インド・中東や東南アジア地域でも需要が多く、一方中国がそれら地域から必需する産品は多くはありませんでした。ために、中国産物の対価として銀が流入し、同国内で大量に滞留することになります。中国はそれらを銀貨とともに、調度品等の生活用品としても使用したので、金銀比価は 1:15 前後で安定したようです。表 3 において、17 世紀中期にかけて 3 国の金銀比価が取れんする傾向を示しているのはこうした事情の反映であったわけです。

3 円貨誕生の経路

さて、日本に話を戻して、三貨制度から「円」という呼称が基準となる新貨条例への経路をめぐっては、少なくとも二つの事案が問題となります。

その一つは、江戸期の金貨は「両」呼称が基準であったのに、明治期になぜ「円」となったのか、ということです。これについて、日銀の貨幣博物館は①中国で円形銀貨を「銀円」「洋円」と称していたのを援用、②新貨幣の形状を円形に統一したため、③銀貨の名称を「円」と称している香港に設置されていたイギリス造幣局機械を譲り受けたため、というように諸説あることを紹介しています（同館『常設展示図録』）。これに対し、『円の誕生』著者の三上隆三氏はさらに絞り込んで、「円」呼称としなければならなかった必然性から説明しています。それはつぎに紹介する、新貨幣制度がたんなる「両」金貨本位制の延長ではないことを示すねらいと結びついていました。つまり、わが国の円貨は基本的にはメキシコドル（洋銀）や香港ドルとほぼ同一の価値をもつ鑄貨とせざるをえなかったとしても、「銀円」については「元」呼称が主流であった中国とは異なるもの、そしてすでにペリー来航前後には国内一部知識人の間で「両」の別称・私称・戯称として用いられていた「円」呼称が 1869 年 7 月以降に公文書で使用されるようになっていました。旧 1 円銀貨が新貨条例公布に先だつ「明治三年」と刻印されたのはけっして早とちりではなかったというわけです。

もう一つの事案は、貨幣呼称の問題にとどまらず、制度の中身の連続性です。表 1 でもあきらかなように、江戸期流通貨幣は幕末に向けて大半が「金貨」となり、「両」金貨本位制に取れんしていったといわれることが多いのですが、1871 年 5 月公布の新貨条例に向けて政府内で検討され、前年 11 月に打ち出された幣制は 1 円銀貨を本位貨幣とする銀本位制でした。あたらしい国家建設に際して貨幣制度をどのようにするかという問題がいかに重要でかつ急がれていたかは、新政府が戊辰戦争を開始した 1868 年 1 月から間もない 4 月に「画一純正ノ貨幣ヲ新鑄スヘキコト」を決議し、造幣機械を海外へ発注し、造幣所建設にとりかかったことから知られます（表 4）。翌年 3 月には参与会計官掛大隈八太郎（重信）と造幣判事久世治作の 2 名の建議にもとづいて貨幣の形状を円形にし、計算体系を十進法に統一して、金貨で踏襲してきた四進法を廃止することも決定しています。

本位貨幣を何にするかについては政権を樹立した 2 年目の 1869 年 6 月から検討を開始しています。その際の政府内の多くは旧幣制の踏襲を主張しましたが、開国に向けた外国交渉で前面に出て、きびしい国際状況への対

表 4 円の誕生年表

年 月	進 展 事 項
慶応 3 年 (1867) 10 月	大政奉還。12 月王政復古。三岡八郎新政府財政責任者となる。
慶応 4 年 (1868) 1 月	上方富豪に会計基金 300 万両募集。
慶応 4 年 (1868) 4 月	「画一純正」貨幣新鑄方針決定。造幣所建設開始、海外へ造幣機械発注。当面、旧貨幣通用、二分金・一分銀等増鑄。
慶応 4 年 (1868) 5 月	丁銀豆板銀通用停止令、太政官札 4,800 万両発行。9 月、明治と改元。
明治 1 年 (1868) 10 月	古金銀交換令。
明治 2 年 (1869) 2 月	三岡八郎退陣、太政官札増発計画されるも 5 月、3,250 万両に縮減。新鑄悪貨や賤金流通もあり、翌年札価低落より回復。
明治 2 年 (1869) 3 月	新貨形状を円形に、貨幣呼称を十進法にふさわしいものとするよう大隈・久世より建議。
明治 2 年 (1869) 6 月	大隈、伊藤、井上ら新貨幣制度（銀本位制）の概要協議開始、11 月各国公使・領事に通告。
明治 2 年 (1869) 11 月	小額札不足により民部省札 750 万両発行、2 分～1 朱の 4 種額面。銀本位制実施案を各国公使に通告。
明治 3 年 (1870) 8 月	新貨幣の種類・図柄・品位・重量を確定（香港ドルを基準）、11 月公式発表。
明治 3 年 (1870) 12 月	米国出張中の伊藤博文より金本位制採用の建議。
明治 4 年 (1871) 1 月	大蔵省、新貨条例および造幣規則仮定。4 月、伊藤の建議を採用し、金本位制採用に変更（実質は、金銀複本位制）。
明治 4 年 (1871) 2 月	大阪造幣寮開業式。
明治 4 年 (1871) 5 月	新貨条例布告。

応にさらされてきた若き人材が国の方針をおおきく支配するようになっていました。とりわけ彼らに影響を与えた主力は、当時、貿易決済実務に際して不可欠の存在であったオリエンタル・バンクの支配人 J. ロバートソンと、イギリス香港造幣局閉鎖とともに施設ごと来日することになった造幣首長のキンドルでした。とくにロバートソンは、東アジアで広く流通しているメキシコ・ドル銀貨と同位同量の銀貨を本位貨幣とする銀本位制を勧告しました。東アジア一円に価値尺度・決済手段となっている洋銀に合わせて、香港でイギリス独自の銀貨を鑄造しようとしたキンドルも、当然に日本に対して銀貨本位制を提言します。

これに対してわが国のねらいは、実質的に金本位制に帰結しつつあった江戸期幣制を継承しつつ、国外で大勢を占めている銀本位制にも合わせる金銀複本位制の採用でした。そのメリットは、金と銀の両方を本位貨幣にすることにより、国際市場でより価値の低い方を主流通貨として素材にでき、開国期のような貨幣流出を回避できることです。このため日本当局は外国顧問の勧告に従うふりをして、1 円銀貨を本位貨幣とする各額面貨幣の量目と品位を定めますが、金貨については明示しませんでした。明示すれば、金貨は円銀の補助貨幣であることが明確になるからです。

1869 年 11 月、政府が外国公使・領事に示した示した新貨幣案を三上隆三『円の誕生』に依拠して紹介すれば、以下の通りです（この案が 1871 年 5 月に公布した新貨条例の「本体」になります）。

今般、我国政府ニ於テ、漸次増益スル国用ニ供補シ且外国貿易ヲ盛大ナラシメンカ為メ、全ク新種ノ貨幣ヲ発行シ、在来ノ貨幣ニ増加センコトヲ決定セリ。

新規発行スル貨幣ノ本位トナル者ハ、其量トロイ斤四百十六グレイン（＝7.22592 匁＝27.1g）ヨリ減スル事ナクソノ質ハ純銀十分ノ九ノ銀貨ナルヘシ。故ニ其銀貨ハ墨西哥ドルラルト同品位タルヘシ。

右本位ノ銀貨ヲ分割シテ更ニ細小ナル銀貨ヲモ鑄造スヘシ。其小貨之定量未タ細精ニ治定セサレトモ、概ネ左ノ如クナルヘシ。

五十セント貨	トロイ二百八グレインヨリ減セス 銀質十分ノ八
二十五セント貨	同百四グレインヨリ減セス 同
十セント貨	同四十一グレイン六ヨリ減セス 同
五セント貨	同二十グレインハヨリ減セス 同

是等ノ貨幣ハ便利ノ為メニセントスル者ニシテ、唯些少之金高ヲ払フ為メニ而已用フ。

又金貨ヲモ鑄造スヘシ。其金貨ハ本位銀貨之十箇・五箇・二箇半ニ当ル者ニシテ、唯便利之為メニ之ヲ用フヘシ。

其定量未タ細密ニ治定セサレトモ、小銀貨ニ均シク些少ノ金高払方ニ而已之ヲ用フヘシ。然レトモ請取人之存意ニヨリ大金高ヲ請取ラント欲セハ勝手次第タルヘシ。

外国顧問団の勧告に従い、シンプルに銀本位制を導入することには以下のような問題もありました。開国時のわが国基本貨幣が「金貨」であったことはすでにふれたとおりですが、その「金 1 両」とは多種品位が並立して混合流通していた幕末維新时期流通「金貨」のうち具体的にどれであったかということです。「金貨流出」が問題となったさいの金貨とは、国内外の金銀比価の差異から判断して、当時もっとも 1 両あたり純金量の多かった「(天保) 小判」でしたが、では維新前後に国内で流通の金貨は何が主流であったかということ、表 2 に示したように、ダントツで「万延二分判」(写真 9) でした。一口に「小判」と言っても、1 両あたりの純金含有量をくらべると、天保小判は 1.7 匁、開国直前の 1859 年に発行した安政小判は 1.36 匁、開港後の金貨流出を食い止めるために急遽鑄造した万延小判は 0.5 匁になりました。ペリー来航以前の基準金貨である天保小判と、開港後の万延小判をくらべると、このように同じ「1 両」でも 3 倍以上の価値の差があったわけですから。

さらに、実際に流通していた「金貨」を観察すると、天保小判こそ 800 万両以上もあり、当時出まわっていた金貨の中核となっていました。安政小判・万延小判は合わせても 100 万両ほどしか鑄造されていません。このように天保小判が開国以後に新貨幣へと改鑄されたあと、「金貨」として国内で授受されるようになるのは安政二分判や万延二分判でした。その発行量をみると、安政二分判が 355 万両であったのに対して万延二分判は 4,600 万両以上となっています。とくに、開国以降の「金貨」と言えば、万延小判の 70 倍も出まわっている万



万延小判
Man'en Koban
(Gold)
1860年
品位 57%



万延二分金
Man'en Nibukin
(Gold)
1860年
品位 22%



万延一分金
Man'en Ichibukin
(Gold)
1860年
品位 57%



万延二朱金
Man'en Nishukin
(Gold)
1860年
品位 22%

万延二分金は、当初金貨流出対策として発表されたが、その後の内戦状態のもとで大量に発行されて幕府財政の支払いにあてられ、急激なインフレと国内経済の混乱が生じた。

写真9 万延期以降の金貨（原寸）

延二分判のことを指すようになります。その二分判の1両あたり純金量は万延小判の0.5匁に対し0.352匁でした。「銀製金貨」といわれる安政一分銀（写真10）は2,547万両も流通していましたので、実際取引・使用されている金銀貨の比価は、この主流通金銀貨でのものになっていったわけです。しかも、安政一分銀（2.3匁=8.625g）の品位87.3%は洋銀（量目約27g=7.2匁）とほぼ同じであったことが、この後の明治期新貨幣に影響をおよぼすこととなりました。つまり、万延二分判1枚と安政一分銀2個が等価値ですから、国内の実勢金銀比価は1:22.8と大幅な金高でした。

このような状況下で「本位銀貨」としての「1円銀貨」铸造が開始されたわけです。ただし、この円銀を本位貨幣とする銀貨・金貨・銅貨11種を準備し

つつある1870年11月、先進国の財政・幣制を視察研究のためアメリカ出張中の大蔵少輔伊藤博文は、当時の欧米が金本位の傾向にあることを察知し、急遽金本位制変更の建議をおこないました。政府首脳はもともと金銀複本位制を志向していたため、複本位制への変更に傾きますが、伊藤博文はさらに強く、金単本位制採用を主張します。ここに1871年4月、準備された銀本位制にもとづく新貨幣条例を取り下げ、翌5月10日、まだ铸造さえも準備されていない「1円金貨」を本位貨幣とし、準備されていた1円銀貨を補助貨幣とする新貨幣条例が公布されたわけです。当然に外国勢力は大いに反対意見を表明しましたが、このような不完全な形での新貨幣大勢が発行し、用意された円銀は「貿易銀」（写真11）としてあらためて铸造され、広く使用されることになりました。



写真10 安政一分銀

Ansei Ichibugin (Silver)
1859年8月 品位 87%
安政二朱銀の発行を停止した幕府は、洋銀の請つづいて、洋銀引替え用の安政一分銀を発行した。



写真11 貿易銀

参考文献

岩橋 勝『日本のお金の歴史』江戸時代、ゆまに書房、2015年。

岩橋 勝『近世貨幣と経済発展』名古屋大学出版会、2019年。

小葉田 淳『日本鋳山史の研究』岩波書店、1968年。

日本貨幣カタログ 2018、日本貨幣商協同組合、2017年。

日本銀行調査局編『図録 日本の貨幣』1、2、4、7、東洋経済新報社、1972-3年。

日本銀行貨幣博物館『常設展示図録』、1987、2017年。

久光重平『日本貨幣史概説』国書刊行会、1976年。

三上隆三『円の誕生』東洋経済新報社、1975年。

山本有造『両から円へ』ミネルヴァ書房、1994年。

Atwell, W.S. "International Bullion Flows and the Chinese Economy circa 1530-1650," PAST and PRESENT, No.95, 1982.

B券からC券シリーズまでの日本銀行券の歩み

戦後の暫定的銀行券から脱皮したB券と、高度の技術水準となったC券

(紙幣研究家) 植村 峻

まえがき

占領軍総司令部（GHQ）の指導監督のもと、敗戦後のハイパーインフレへの対応や財産税導入を念頭に置いて、昭和21年2月より急遽発行されたA券シリーズは、短時間に準備を行う必要があったこと、終戦時の混乱によって印刷局の製造体制確立が間に合わなかったこと、そのためデザインや版面製造、更に銀行券用紙製造や印刷に民間証券印刷会社等を総動員して緊急対応せざるを得なかったことから、品質面やデザイン面において、緊急対応と言わざるを得ない粗末な暫定銀行券であった。用紙には透かしが無く、印刷も簡易なオフセット印刷であるなど、偽造防止技術も極めて不完全であったが、終戦時の混乱時期であったため、偽造券も発生したが、精巧な偽造券は無かったようである。

このような情勢下において、通貨行政を担当する当時の大蔵省、印刷局や日本銀行では、A券シリーズ発行直後から、早急に偽造防止技術を備えた本来の銀行券に立ち戻る必要性を痛感し、新B券シリーズ銀行券の製造、発行のための準備を早速開始していたのであった。しかし、当時アメリカなど連合国軍の占領下にあった日本では、GHQの発した命令文書「覚書」により、銀行券の図柄、発行券種、発行時期などは日本政府だけでは決定できず、細部にわたり占領政策に合致するかどうかを審査するGHQの事前承認が必要であった。そのため、当時の大蔵省、日本銀行や印刷局関係者は、厳しい経済情勢や製造環境下ではあったが、本格的な銀行券の復活に向けて、その肖像などのデザイン、券種、製造面において採用すべき銀行券用紙や印刷技術に関する調査研究を精力的に行い、新シリーズ券の発行に向けて活動を開始したのであった。その成果はGHQの承認を得てB券シリーズの実現となったのである。

B券シリーズの第1弾としてのB千円券の発行

GHQに対する日本政府・大蔵省による銀行券関連の申請第1弾は、A券発行半年後の昭和21年10月に行われ、発行を希望する7券種について、その各券種に使用する肖像に関して協議を申請するものであった。戦後の激しいインフレが続く中での高額券として、千円、五百円、百円の各券種には、戦前に使用された紙幣肖像の中で唯一GHQにより継続使用が承認された聖徳太子肖像を共通で採用し、その他の低額券では、新たに五十円券には岩倉具視、十円券には大久保利通、五円券には福沢諭吉、そして一円券にはA券で採用された二宮尊徳の肖像であった。この肖像の人選案に関しては、GHQ側は一応了承したものの、実際の製造時には再度許可を要するとされた。

その後、大蔵省では銀行券の肖像に採用するための人選について再検討を加え、再度GHQに対して20名の肖像候補者のリストを提出したが、GHQからはそのうちの聖徳太子、貝原益軒、板垣退助、木戸孝允、大久保利通、野口英世、岩倉具視、二宮尊徳、福沢諭吉、青木昆陽、夏目漱石、吉原重俊の12名について了承を得た。一方、承認されなかったのは、光明皇后、菅原道真、松方正義、新井白石、伊能忠敬、勝海舟、三条実美、渋沢栄一の8名であったが、その不承認の理由は一切明示されなかった。

その後わが国では、激しいインフレが続いたため、大蔵省などはその対応に追われたが、やがて経済情勢も一段落し、新シリーズ券発行の機運が熟成した昭和23年段階になって、新券発行に関する本格的な検討が再開された。低額の十円、五円、一円に関してはコイン化の方針が決まったため、銀行券に関しては最高額面の千円券発行が最優先課題となり、昭和24年8月29日付けでGHQに対してB千円券の発行申請が行われた。終戦後の激しいインフレにより、当時最高額面であったA百円券は、金額ベースで全銀行券発行高の96%を占め、実際の取引の際の利便性の向上や、製造コストの削減の必要性のほか、もはや

今後は更なるインフレの加速の危険性が無いことが理由となっていた。この申請に対して、GHQ担当官のマーカット少将から承認を行う旨の通知がなされた。同年9月にはプレス発表が行われ、その直後から早速、銀行券用紙の抄造が開始され、10月には完成した表裏の地紋や凹版版面を用いて、本格的な印刷が開始され、やがて昭和25年1月7日に発行となったのであった。



B千円券の表面と裏面

聖徳太子の
凹版肖像加藤倉吉
前彫刻課長

B千円券のデザイン作成は、大野為次彫刻課長、聖徳太子の肖像彫刻は既に昭和21年当時に原版が彫刻済みであったもので、発行当時には既に印刷局を退職していた前彫刻課長・加藤倉吉であった。加藤倉吉が凹版彫刻した聖徳太子の肖像のコンテ画は、昭和5年の乙百円券発行当時に、図案官・磯部忠一がデザインしたものを用いているが、彫刻自体は加藤倉吉の優れたビュランさばきによる力強い凹版彫刻画線が特徴であり、その聖徳太子の肖像は、乙百円券の温和で高貴な容貌と比べると、遠くを眺める目付きは鋭く、頬が引き締まり、口元は凛々しく、全体に精悍な顔つきで、実在感がある表現となっている。

また図柄の特色としては、肖像に採用する聖徳太子にちなみ、従前の乙百円券と同様に、法隆寺に関連する図柄が多く採用されているのが特徴である。券面左の白彩紋模様の中央には「1000」の数字、その左右には架空の五弁花を組み合わせた空想の花である「宝相華」の唐草模様を配置し、右には法隆寺の古瓦からとった半円形の忍冬文模様によって肖像を取り囲んでいる。券面天地の輪郭枠は、法隆寺金堂の「玉虫厨子」の透かし金具模様からとった天平模様である。なお、「日本銀行券」の書体は、戦前の銀行券に多く用いられた独特な装飾性豊かな篆書体（小篆）の「**日本銀行券**」である。このような権威性や装飾性あふれる書体は、このB千円券が最後であり、それ以降発行のB五百円券などではあまり複雑な書体は使用せず、更にその後発行のC五百円以降は当用漢字の書体に修正している。また表面の地模様は2色凸版印刷で、法隆寺の宝物・玉虫厨子に付いている透かし金具模様からデザインを採用しており、全体として聖徳太子時代の天平唐草模様が多くなっている。

裏面のデザイン作成は、山野内孝夫図案掛長であり、左上には長方形で囲んだ法隆寺の夢殿の建物が凹版印刷されている。この凹版部分は、昭和5年に発行された乙百円券の原版を、そのまま流用したものであった。

また、右端には重厚な凹版による天平唐草模様が採用されており、その図柄の出典は法隆寺所蔵の織物「四騎獅子狩文錦」の中の図柄であり、四つの円形の図柄の交差する中間部分の模様を用いている。この「四騎獅子狩文錦」は7世紀の唐時代に作られた織物で、直径45センチの大円形模様を3列5段に配置したものであり、その円形の中の図柄は、4人の乗馬の騎士が襲い掛かる獅子に向かって矢を射る光景である。B千円券裏面右端の模様は、その四つの円の中の図柄ではなく、その隙間にあるパルメット（葉が扇状に茂るナツメヤシ）花紋などの図柄をそっくり採用したものである。

なお、透かしは券面左上部に、縦に「日銀」の文字、これを挟んでその左右に桜花の模様が、白黒透かしを用いてシャープに漉き入れられている。しかしながら、その透かし部分の上に、表裏に凹版や地模様が印刷されているために、その透かしの姿をはっきりと観察することができない。当時はまだ透かしは補助的なものと考えられ、真偽鑑定用に使用するのが主目的であったため、現在の銀行券のように透かし部分を空白として印刷を施さず、偽造防止効果の高い「透かし」をはっきりと見せるという考えは無かったのである。

また戦後から昭和24年まで製造の政府紙幣や銀行券は、インフレに対応するため、印刷局以外の民間の証券印刷会社にも委託して印刷した経緯があったため、その名残として、このB千円券表面の記番号の末尾のアルファベット文字は、その銀行券の印刷工場を表していた。

なお、このB千円券では、そのほかに凹版による輪郭模様や凸版による地模様などに法隆寺の宝相華模様、古瓦模様、天平唐草模様などを用いており、また比較的地味な色調での印刷であることから、当時は戦前からの優れた日本紙幣の特徴をうまく再現、復活させた権威と気品にあふれた銀行券であると好評であった。なお、当時印刷局は大蔵省の外局「印刷庁」であったため、製造銘版は「日本政府印刷庁製造」となっている。



表面の額面表示の周囲の
天平唐草模様



表面左部分の白彩紋
及び宝相華模様



裏面右の
パルメット凹版模様



出典となった「四騎獅子狩文錦模様」
その部分拡大



B千円券の白黒透かし



夢殿とその凹版図柄



玉虫厨子の透金具の
天平唐草模様



B五百円券を続けて製造発行

B千円券の発行直後に、当時としては千円に次ぐ高額券であるB五百円券の製造発行に取り組んだ。GHQの許可を得た後、早速昭和25年4月から表裏の凹版原版の彫刻に着手し、9月には原版彫刻が完成している。当初は高橋是清、大隈重信も肖像候補に挙がっていたが、明治維新の立役者で元勲、明治新政府において右大臣の要職を務めた岩倉具視の肖像が採用された。表面全体のデザインは、彫刻課長の犬野為次が担当し、肖像は彫刻の名人と言われ、既に昭和24年7月に印刷局を退職していた前彫刻課長の加藤倉吉が、まだ在職中の昭和21年12月から翌年2月の間の短期間に、凹版原版を完成させていた「岩倉具視」の肖像が採用された。岩倉具視の肖像のコンテ画や写真などは存在しなかったが、明治22年12月当時に印刷局に勤務していたお雇い外国人で凹版彫刻師のキヨッソーネが制作した大型(縦55×横41cm)の銅版画「右大臣従一位大勲位・岩倉具視公」が残っていたために、その版画を基にして、肖像の向きを右向きから左向きに変更し、原版を作成している。加藤倉吉が彫り上げた肖像は、意思の強さを表す鋭い眼や口元を、簡潔で無駄のない画線で彫り上げている。基になったキヨッソーネの大型銅版画と、B五百円券の肖像を比較しても、さほど違和感がないほど立派な出来栄えとなっている。基になった版画では、左胸には勲一等菊花大綬章などの多くの勲章を、右肩から左下腰に掛けて着用した勲章用の幅広の布製の帯「サッシュ」を着用、立派な金糸の盛り上げ刺繍のある公式の大礼服を着用しているが、B五百円券ではそれを蝶ネクタイ姿の平服に切り替え、原版を完成させている。



B五百円券の表面と裏面

岩倉具視の
凹版肖像出典となった
キョッソーネ彫刻の
銅版画の岩倉具視像

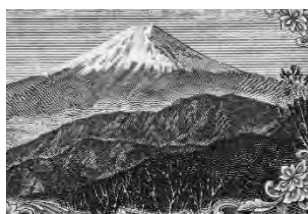
基調色は青色で、肖像の下部には古代の唐草模様を採用、左部分には白彩紋模様の中に「500」の額面金額、その上下には天平唐草模様を、中央の額面金額「五百円」の背景には、正倉院御物「黒柿蘇芳染金銀絵如意箱」の模様を用い、またB千円券と同様に、天地の輪郭部分やレリーフ模様部分には、法隆寺の玉虫厨子の雲形模様や透金具模様がレリーフ模様として採用されている。四隅には唐草模様と、「五」「百」「500」「日銀紋章」の微細な凹版割模様を採用しており、この技法は後に発行されるB券シリーズにも採用されることとなる。また表面左右端には、機械彫刻凹版による反復方式の「微小凹版模様」を採用しており、仔細に観察すると「500」「五」「百」の微細な文字が反復して一面に印刷されている。また、上下の地模様には画線が盛り上がったように見える「レリーフ画線」を使って「500」の数字などが印刷されている。

裏面の図柄は図案官の嶋田武夫が担当し、右には日本を代表する清峯・富士山の景色が描かれている。このB五百円券に採用の富士山の光景が確定する以前の検討段階では、当初著名な風景写真家・岡田紅陽が撮影した静岡県内の「三保松原から見た富士山」を採用する予定であったが、あまりにも平板すぎるという意見が多かった。そのため、富士山の図柄を他の写真に急遽変更することとなり、当時は国鉄大宮工場機械部勤務であった、埼玉県で野市在住の写真家・名取久作が、昭和17年11月3日に撮影した山梨県の雁ヶ腹摺山（標高1874m）の山頂から眺めた「初冬の朝の富士山」の写真を採用することとなった。この写真は折り重なる山並みの彼方に、くっきりと聳える富士山の光景であり、これを手本にしてデザイン、凹版彫刻して、B五百円券の裏面に採用することとなった。

印刷局では下図用の写真撮影のために池田実技師、原画作成担当の嶋田武夫図案官、それに凹版原版制作を担当した渡部文雄彫刻官の3人を、名取久作が写真撮影した時期に合わせて、初冬11月初旬の朝に現地に派遣し、写真撮影などの取材を行ったのであった。手前の樹木が立ち並ぶ撮影個所の雁ヶ腹摺山の頂上から見た光景は、すぐ前に滝子山（1620m）、その先には鶴ヶ鳥屋山（1374m）、更にその先には三つ峠（1785m）が重なって配置され、更にその先の青空の中には、白雪をいただいた富士山（3776m）が聳え立つ重層的な風景であり、壮大で魅力的な光景となっている。

この裏面の凹版版面は、ビュラン彫刻ではなく、エッチング方式の針彫りの技法を用いたもので、図柄を拡大して観察すると、画線幅や深さがほぼ同じであり、ややソフトな感じに凹版版面を完成させていることが分かる。

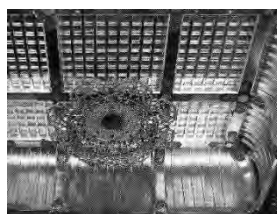
裏面の左部分中央には、大きく表示された「500」の額面数字が印刷され、その周囲には法隆寺の仏像に使用されている蓮花模様が描かれ、更にその外周には奥州平泉の中尊寺金色堂の天蓋模様が組み合わせた模様として使用されている。即ち、この図柄は中尊寺金色堂の内部の中央壇、左右壇のそれぞれの天井に吊るされた木造の繊細な透かし彫りを用いた吊天蓋の飾り模様である。なぜB五百円券に中尊寺の図柄が採用されたのか、その理由は記録に残っていない。B五百円券の透かしは、中央上部に「500」の数字の白黒透かし、その左側に野菊の模様が大きく枝を伸ばしている図柄が漉き入れられているが、表裏に印刷された凹版や地模様の図柄があるために、その透かしの模様があまりよく見えない状態となっている。



雁ヶ腹摺山から見た
三つ峠や富士山の光景



裏面左部分の蓮花弁と金色堂の
天蓋模様の組み合わせ



中尊寺内部の天蓋



白彩紋模様に囲まれた
宝相華飾り文様



B五百円券の「野菊と500」の透かし模様

B五十円券には高橋是清の肖像を採用

B五十円券は昭和26年12月に発行されているが、その発行の理由として、当時A十円券の需要枚数が増えたため、消費者の利便性を考慮したこと、金融機関での事務処理能力への対応や製造コスト削減を図るためであるほか、特に日本銀行の強い要望もあって発行が計画され、GHQの承認を得た後、昭和26年5月銀行券用紙の製造、同年9月に印刷を開始している。

表面の肖像は、明治25年に日本銀行に入行し、副総裁を経て、明治44年から大正2年までの間、総裁を務めた高橋是清(1854-1936)の肖像を採用している。彼は日本銀行退職後に政界に入り、歴代内閣の下で大蔵大臣7回、総理大臣も勤めたが、昭和11年2月26日の「二・二六事件」の軍事クーデターで、凶弾に倒れている。銀行券のデザインは当時の図案掛長・山野内孝夫、凹版原版の彫刻は渡部文雄彫刻官である。高橋是清の肖像写真は比較的多く残されているが、銀行券に採用されたものは、特に高橋家から借用した七十歳代後半頃のものであり、髭が豊かで「ダルマ」の愛称があった丸顔、やや右を向いた写真が基になっているが、銀行券の肖像では真正面を向いた姿に彫り直しており、また衣装も正装から通常の背広姿に改めている。

右の肖像下部分には月桂樹の枝、実と葉が描かれ、左には「50」の数字の周りに唐草模様、天地の輪郭枠には白彩紋と天平模様、中央の額面金額「五拾円」の下には地模様で大きな唐草模様が印刷されている。また表面左右の部分には、機械彫刻を用いた凹版による微細な凹版割模様が一面に採用され、仔細に拡大して観察すると「五」、「拾」の装飾文字や日本銀行の装飾的な「紋章」が密かに配置されていることが分かる。

裏面のデザインは彫刻課長の犬野為次であり、左部分の楕円形の中には日本銀行旧館の建物、四方の輪郭枠模様には天平模様、地模様には凸版印刷による微細模様が採用されている。B五十円券は低額券であるため、その銀行券用紙は定位置の白黒透かしではなく、簡易なダンディロールによる透かしを用いており、白透かしによる「日銀紋章」と白黒透かしによる「50」の数字が交互に、用紙全面に広がる散らし漉き方式を採用しているほか、用紙の材料はみつまたではなく、マニラ麻を採用している。なお、表面最下部には「日本政府印刷庁製造」の銘版が印刷されている。

一方大蔵省では、造幣局の製造能力が回復したこともあり、昭和29年11月に五十円硬貨の図案を公募し、入選作に基づいて菊花を大きく描いた穴なしのニッケル製の大型サイズ五十円硬貨を昭和30年以降製

造発行しているため、B五十円券の製造は昭和26年から昭和30年3月までの短い期間に約3億6千万枚しか製造しておらず、極めて製造枚数が少ないので、収集家にとっては比較的手入困難な銀行券となっている。



B五十円券の表面と裏面



高橋是清の
凹版肖像



出典となった
肖像の写真



高橋是清の肖像を彫刻した
渡部文雄彫刻官



表面中央の額面金額の下地に
採用されている唐草模様



表面左部分の白彩紋模様と
宝相華模様



凹版割模様に見る「五」や
「拾」の微細な文字



用紙全面に散らし漉きされている
「50」と「日銀紋章」の白黒透かし模様

B百円券には政治家・板垣退助の肖像を採用

戦後の昭和21年2月25日に発行されたA百円券は、戦後の混乱期に急遽発行されたもので、GHQの強力な指導の下、凹版印刷を使用することが求められ、その結果戦前から使用してきた聖徳太子の肖像入りの「い百円券」の表面に、赤色インキで「桜花瑞雲」の新円マークを加刷した銀行券であった。この銀行券は戦前の規格であるため、縦横の長さが正方形に近い大型の寸法であったが、既にB券シリーズの各券種とは規格が異なることや省資源の観点から、大蔵省、日本銀行、印刷局では、百円券のB券規格への改造が検討されてきた。

当初の案では板垣退助ではなく、明治の元勳・木戸孝允、大久保利通、福沢諭吉が候補者となっていたが、その中でも特に大久保利通が最有力候補であったものの、検討の最終段階において修正意見が強まった。その理由は、明治初期の日本の政治では大活躍した大久保利通であったが、議会政治に関しては、当時の情勢では時期尚早として、否定的な考え方を持っていたこと、裏面に採用予定の国会議事堂の建物の図柄とは相容れないこと、また既に23年3月には政府紙幣五十銭券にGHQの承認を得て、その肖像が採用済みであったことなどから、板垣退助の肖像採用が決定した。なお、昭和27年4月28日には平和条約が発効し、もはやGHQとの折衝が不必要となったことから、当時の政治情勢や国会対策も考慮して、明治時代に議会の開設を求めて「民撰議院設立建白書」を提出、自由民権運動を展開して、自らも帝国議會議員となり活躍した板垣退助(1837-1919)に決定したのであった。

B百円券の原版は昭和27年6月に完成し、9月には印刷を開始、11月に日本銀行への納入が始まり、翌28年12月1日に発行となったのであった。

B百円券表面のデザインは図案掛長の山野内孝夫が、肖像の凹版彫刻は渡部文雄が担当した。肖像の基になった写真は、既に昭和23年に発行された政府紙幣五十銭券のそれとは異なり、新たに板垣家から写真を用いて凹版彫刻したものであった。その基になった写真は、明治30年代に著名な銀座の丸木写真館で撮影されたものであり、働き盛りをやや過ぎた政界引退時期の60歳後半に撮影されたものと推定される。目付きや顔付きはやや温和で、顎髭も従前に比べて少なくなり、下に垂れ下がっているのが特徴である。またモデルとなった肖像写真は右向きであるが、それをやや左向きに変更して、凹版彫刻を行っている。一方、昭和23年に既発行の五十銭政府紙幣の肖像は、板垣退助が内相に就任した50歳代のまだ若い頃の写真とみられ、目付きも鋭く、顔付きも精悍な感じであるほか、豊かな顎髭も横に張って長く伸びており、B百円券の肖像とは異なるものである。表面左部分には、「100」の額面金額の周囲の図柄に天平唐草模様と、法隆寺金堂の天蓋にある鳳凰の彫刻板の図柄を採用している。また、その周囲には偽造防止のために採用した複雑な機械彫刻による微細な凹版割模様が印刷されており、仔細に観察すると装飾模様と「百」の文字が、一面に印刷されている。また表面の地模様には、宝相華模様や、レリーフによる模様が多く採用されている。

更に表面右下隅には、蓮の茎の断面をモチーフにした唐草模様に囲まれた「齒車」のような円形模様が印刷されている。この図柄は蓮の茎と花卉で、法隆寺の西院跡から出土した蓮花文軒丸瓦をモデルにしたデザインである。この円形の瓦模様の周囲には、三角形の模様が入った円形枠が取り巻いている。この円形枠には隠し模様があり、右側に横棒を描き入れてあるのは酒匂工場（現在の小田原工場）製造、下部は静岡工場製、左側は彦根工場製であり、無いものは滝野川工場（現在の東京工場）製である。このような一種の「秘符」が採用された理由は、A券シリーズで採用されていた製造工場表示の名残かも知れない。

なお、表面最下部には製造銘版が「大蔵省印刷局製造」と表示されている。

裏面のデザインは彫刻課長の犬野為次であり、裏面の国会議事堂の図柄の彫刻は撮影された写真を基に栗原七三が凹版彫刻している。国会議事堂の建物は、正面に向かってやや右側の参議院側から正面玄関、衆議院側を眺めた構図となっている。なお、五十銭政府紙幣の国会議事堂は、真正面から見た構図で、正面玄関と議事堂の参議院側（当時は貴族院）の右部分を採用していた。そして、左の額面金額表示「100」の上下には、宝相華のレリーフ模様が囲み、上下の「NIPPON GINKO」、「100YEN」の文字の左右には、鉄条模様を配置している。

銀行券用紙には斜めの斜線入りの「100」の数字、その左には桐葉と桐花の図柄が白黒透かしで中央上部に漉き入れられているが、表裏に地模様がびつしりと印刷されているため、透かしの模様をはっきりとは観察できない。なお、B百円券は、当初はその素材にみつまたを使用していたため、やや茶色の紙質であったが、後半には白色度を上げて地模様などの図柄がすっきりと観察できるように改善されているので、記番号だけではなく銀行券用紙の色合いでも、そのB百円券が初期段階のものか、後期のものかを、容易に判別することができる。なお、B百円券については、昭和32年以降百円銀貨、昭和42年以降白銅貨が発行され、B百円券と並行発行されていたが、硬貨の発行が軌道に乗ったため、昭和47年12月をもって納入を終了している。



B百円券の表面と裏面



板垣退助の
凹版肖像



出典となった
板垣退助の写真



表面左部分の
鳳凰模様



モデルとなった
法隆寺天蓋の鳳凰



表面左部分の
凹版割模様



歯車状の暗証マーク



モデルとなった
法隆寺「蓮花文軒丸瓦」



裏面の
レリーフ宝華模様



B 百円券の白黒透かしとその図柄



国会議事堂の凹版図柄

B 券各券種が製造、発行された当時の製紙・印刷技術

B 券シリーズの各券種が発行された昭和 25 年から昭和 28 年頃までは、まだ戦前から継続使用している印刷機械類を用いて製造したものであったが、製造量の増加に対応するためや、品質向上の要請に対応して、その改良が加えられた。即ち、地模様印刷用には戦前にドイツのケーニッヒ・パウアー社から購入したイリス凸版 4 色輪転印刷機や、国産の 2 回転凸版印刷機が使われたが、昭和 28 年には印刷インキの改良により熱乾燥方式を採用して、従前のような工数がかかる間紙を廃止した。また昭和 29 年にはイリス凸版印刷機に集合胴ユニットを導入して凸版ザンメル印刷ができるように改善が行われたほか、ユニット型の 4 色凸版輪転印刷機も導入され、B 券シリーズ表裏のカラフルで精緻な地模様の印刷に成功したのであった。

また凹版印刷では、戦前と同様に凹版速刷機が主力であったが、昭和 29 年には速刷機に給紙装置を取り付け、また凹版インキの改善により湿紙作業や間紙入れ作業がなくなり効率化したほか、印刷機の改造によって従来の凹版単色から凹版 2 色ザンメル印刷が可能となり、やがて昭和 32 年には C 券シリーズの五千円券や、一万円券に凹版 2 色ザンメル印刷を実現している。更に番号印刷機では、従来は停止円筒印刷機、堅型ミレー番号印刷機を使用していたが、それも改善が図られ作業の効率化を実現している。

銀行券用紙の製造面でも、昭和 24 年頃では用紙の素材はすべてみつまたであったが、原料の集荷難と銀行券製造量の増加に対応するために、みつまたにマニラ麻屑を混入し、更に透かし模様を入れ方を改良して作業効率を上げるなど、様々な改善策を導入している。



改良された凹版速刷機



イリス4色地紋印刷機



縦型ミレー番号印刷機



ユニット型4色凸版印刷機

C券シリーズ高額銀行券製造へのスタート、その困難だった道のり

戦後の混乱した経済環境が大きく変化し、高度経済成長に向かったのは、朝鮮戦争による特需のお蔭もあったが、我が国の経済産業基盤が顕著に改善されたためであった。その結果、昭和28年頃には通貨発行高の増加が相次ぎ、金融機関における現金処理の際の事務手続きが煩雑化したため、一万円券など高額券への需要が高まっていた。一方、印刷局でも改良された速刷機を中心とした製造体制では、増加が見込まれる高額面の銀行券の製造需要に対応することが困難となることが予測されたため、国産の高性能の輪転印刷機や当時欧州で採用され始めた高性能の最新型紙幣印刷用の機械類の導入を真剣に検討していた。

昭和28年5月には、大蔵省は聖徳太子の肖像を使用する一万円券発行の方針を固めて、新銀行券の下図案を新聞発表するなど、高額券発行を積極的にPRをしたが、依然としてインフレを懸念するマスコミや世論の反応は厳しく、また日銀内部でも政策決定を担当する政策委員会では高額券発行に対する消極論が相次ぎ、結局高額の一万円券の発行は一時凍結されたのであった。

その後昭和30年代に入ると、我が国の経済は一層活性化が進み、景気が回復し「もはや戦後ではない」という言葉も聞かれるようになった。そのため高額券のニーズも一層強まったほか、一方では依然としてインフレ懸念の慎重な世論もあったため、大蔵省や日本銀行でも高額券発行に関しては、慎重な対応が続いていた。しかしながら、印刷局などでは水面下においては着々と「C券シリーズ」発行に向けての準備が着実に進んでいた。

本格的なC五千元券の製造発行

のような情勢下において、一万円券に先立ち、まずC五千元券が昭和32年10月1日に発行されたが、銀行券の表裏のデザインは山野内孝夫工芸主管が担当し、表面の聖徳太子の肖像は押切勝造彫刻官、周囲の凹版輪郭模様は栗原七三彫刻官、彩紋模様は菅谷権次郎彫刻官、地模様は岡村昭二彫刻官が原版作製を担当した。押切彫刻官は昭和5年発行の乙百円券でデザインを担当した磯部忠一図案官が作成した聖徳太子のコンテ画を基に凹版彫刻を行ったが、その太子の容貌はやや面長の力強く引き締まった表情であり、衣服も立体感があり、全体として実在感が感じられる肖像となった。肖像部分は茶黒色、左右の白彩紋模様は暗緑色の凹版2色ザンメル印刷であり、肖像の下部には天平唐草模様を配し、券面の上下左右の楕円状の凹版枠は、曲線を使った動きのある図柄で、左右の白彩紋模様を多く用いた暗緑色の部分は特に動きを感じさせる。

地模様は凸版レインボー印刷を採用しており、第1から第3までの地紋模様に使用される版面は各々2色のレインボー印刷で、表面の地模様は合計6色を採用している。券面が縦方向に広いことから、記番号は左右4カ所に印刷している。

裏面の日本銀行の建物は、渡部文雄彫刻官が担当しており、左の楕円形の透かしのある空白部分の周囲には、窓のような構図で暗緑色の枠を凹版単色印刷している。地模様は凸版ザンメル印刷で、右部分には6個の千両箱の上に、2頭の立ち上がった獅子像が日銀の紋章を抱えており、その周囲の色が変化する3色を使った枠は、印刷局が独自に部分改良をしたイリス凸版ザンメル印刷機を使用して印刷している。この獅

子の模様は、日本銀行旧館の石壁門上の石レリーフ彫刻や新館の建物の入り口のドア部分に取り付けられた金属製のレリーフで、この意匠は日本銀行発行の書籍や資料などにも用いられているものである。

C五千円券は製造枚数が少なかったため、国産技術により改良した多色イリス凸版印刷機を用いて、もっぱら印刷局小田原工場で印刷されていた。しかし、機械設備の近代化に伴い一度に表裏の地模様印刷ができる印刷効率の良い外国製の地紋オフセット印刷用の「シムルタン」印刷機が昭和40年3月に新規導入された。そのため、途中から地紋凸版オフセットの印刷方式を改良したため、前期と後期の五千円券裏面の印刷状態は若干変化している。即ち、裏面右下隅の丸い発券局長の印章が、建物の凹版模様の上に重ねて印刷されているのが前期の印刷で、その間に隙間があるのが後期の印刷である。

C五千円券の透かし模様は、初めて精緻な人物肖像を機械抄きのシャープな白黒透かしで抄造したものである。銀行券用紙の素材はオールみつまたであり、昭和34年以降紙質強化のために尿素樹脂を薄く塗布加工している。



C五千円券の表面と裏面

聖徳太子の
凹版肖像聖徳太子肖像を彫刻中の
押切勝造彫刻官日銀紋章を支える
獅子の図柄日銀建物の
飾り模様

前期と後期の印刷比較

聖徳太子の精緻な
白黒透かし

難航した高額C一万円券は昭和33年に登場

高額銀行券の導入についてインフレ懸念が強かったマスコミや世論に配慮して大蔵省はC五千円券の発行を先行させたが、予想に反して特段の反対もなかったため、翌昭和33年には待望のC一万円券が発行された。C一万円券の表裏のデザインは山野内孝夫図案官が担当し、表面の聖徳太子の肖像は渡部文雄彫刻官、輪郭模様は笠野常雄、彩紋模様は菅谷権次郎、レリーフなどの地模様は上田薫彫刻官が担当した。渡部文雄の彫刻した太子の肖像は、丸みを帯びた温和な表情が特徴で、大きな券面の割には小型の肖像であり、唐草模様に含まれた左側の凹版額面金額の「10000」と対比して、重厚な濃緑と焦茶色の2色凹版ザンメル印刷の輪郭枠の中に配置されている。その周囲の宝相華、唐草模様2色凹版ザンメル模様や、重厚な四隅の額面金額の数字などはいかにも重厚で、高額券の印象を強くしている。

中央の印刷の無い円形空白部分には、法隆寺の夢殿を極めて高精度な技術で、白黒透かしをシャープに漉き入れている。また、用紙の素材は、高額券のため高価なオールみつまた製でやや黄色味がかかった地肌色で、昭和34年以降は用紙の補強のために尿素樹脂の塗布を行っている。

裏面の輪郭枠模様も白彩紋模様やレリーフ模様を採用した凹版単色印刷で、この唐草彩紋模様は押切勝造彫刻官が彫り上げている。地模様は、中央の透かし部分の両脇に、宇治平等院鳳凰堂内のカラフルな柱

のすぐ横の板状の「方立」に描かれた鳳凰の文様をデザイン化して、凸版ザンメル印刷方式で印刷している。この原画が描かれた時期には、まだ鳳凰堂内部の修復がなされていなかったようであるが、改修後の現在ではこの架空の瑞鳥「鳳凰」の姿は極めてカラフルで、美しいものである。模様の中に組み込まれた4羽の鳳凰のうちの2羽をシムルタン模様に適するように細かい白画線で区分し、カラフルでありながら周囲の重厚な凹版紋彩模様と調和させ、全体として落ち着いた雰囲気を持つ本格的な高額券となっている。



C一万円券の表面と裏面



聖徳太子の
凹版肖像



夢殿の白黒透かし



裏面の鳳凰像



モデルとなった平等院鳳凰堂の柱横の図柄とその拡大

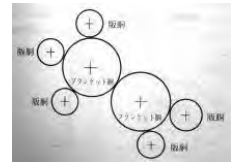
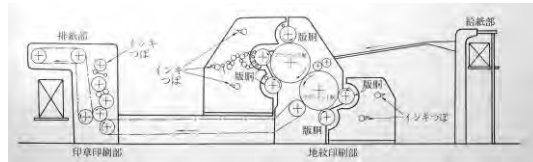


聖徳太子像を彫刻した
渡部文雄彫刻官

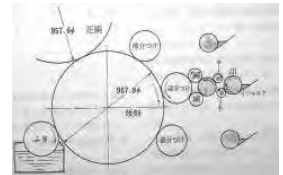
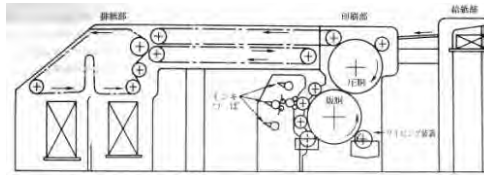
B千円券の偽造事件とC千円券の発行

昭和25年に発行されたB千円券は、戦後初めての凹版印刷を用いた新しい本格的な銀行券として、人々に愛好され円滑な流通を続行してきたが、昭和37年に至り戦後初めての凹版を使った偽造券が登場し、「チー37号事件」として連日新聞紙上を賑わせた。最初は昭和37年の暮れに秋田県下で偽造B千円券が発見され、その後約半年間に東北地方を中心に各地で、343枚の凹版印刷を用いた偽造券が流通した。この贋札の品質自体はさほど優れたものではなく、容易に真偽を判別できる程度であったほか、損害額もあまり大きなものでなかった。この事件の犯人は単独犯とみられたが、半年でびたりと贋札は発見できなくなり、その後捜査は迷宮入りとなった。そのほかにもB千円券の偽造券が各地でみられるようになった。

特に偽造券が凹版印刷を用いていたことから、大蔵省、日本銀行や印刷局など通貨発行当局は深刻に受け止め、そのうちにまた精巧な偽造事件が発生することを懸念して、偽造防止対策が万全な新しい千円券の印刷、発行の方針に踏み切ったのであった。なお、昭和35年以降印刷局では、将来において銀行券の製造需要が急拡大することを予測して、当時主に西欧諸国において新技術を用いた高品質の優れた銀行券を大量に生産できる印刷機の導入を既に開始していたのであった。この新鋭機はスイスに本部を置くジョリ機構(GIORI ORGANIZATION)が開発したもので、実際の印刷機械の製造はドイツのケーニッヒ・パウアー社(KÖNIG-BAUER)で行われていたものである。新鋭機には、凹版ザンメル3色印刷ができる「ジョリ凹版輪転印刷機」、表裏の多色凸版地模様を同時印刷できる「シムルタン輪転印刷機」、記番号印刷用の「ヌメロータ番号輪転印刷機」、そのほかには英国デラルー社製の凹版単色輪転印刷機などであった。最初は試験的に導入したが、やがて全工場に導入、更に進化した国産の地紋、凹版印刷機なども開発するなど、設備の近代化に取り組んでいたのであった。



ドイツ製のシムルタン輪転印刷機（表裏5色ドライオフセット印刷）とその構造図



ドイツ製のジョリ4P凹版輪転印刷機（凹版ザンメル印刷）とその構造図

これらの新鋭機を駆使して製造する銀行券は、既にヨーロッパで実用化しており、特にこれらの機械の特色を生かして優れた銀行券を製造していたのは、オーストリア国立銀行印刷所であった。そのため、日本の印刷局は独自に調査研究を行ったほか、先進技術を採用済みのオーストリア国立銀行印刷所等の銀行券技術の調査を行い、その先進技術の習得に取り組んでいたのであった。当時のお手本とされたオーストリア国立銀行券は、既に1960年以降発行されており、地紋模様には細い白線を境にして異なる多色模様を精緻に印刷する刷合わせ精度が高い「シムルタン模様」、異なる凹版インキの色が同時に3色まで印刷できる「凹版ザンメル」印刷などであった。当時は市販の一般的な枚葉式又はユニット型の多色輪転印刷機によるオフセット印刷では、色ずれが生じ精巧な印刷ができないこと、図柄の途中から刷色に変化する凹版ザンメル印刷などは、とても再現できない最新の偽造防止技術であった。また輪転印刷方式のため、従来の機械に比べて、高速で多面印刷ができる高性能な印刷機であった。

日本の印刷局では、増大する銀行券の製造需要に対応するために、これらの先進機械類を導入する方針を固め、1961（昭和36）年度に初めてシムルタン輪転印刷機1台、ジョリ凹版輪転印刷機などを2台、デラルー社製の凹版輪転印刷機2台、ヌメロータ番号輪転印刷機1台から成る新鋭機の1セットを導入したが、経済発展に伴う銀行券の需要枚数は更に急増したため、これらの外国製の機械をさらに追加導入して、全国の工場に合計10セットの製造体制を確立したのであった。



チー37号事件で押収された偽造B千円券



B千円の真券(左)と偽造券(右)の比較



モデルとなった1960年代初期のオーストリア国立銀行券



表裏の図柄に
シムルタン模様を多く採用



当時世界各国に新鋭機を普及させた
スイスのジオリ機構

最新の製造設備を総動員して製造したC券低額券

昭和38年11月1日発行の新C千円券に採用された人物肖像や図柄に関しては、事前に日本銀行発券局が東京大学の心理学教室に調査を委嘱し、相良守次教授の研究グループのもとで、一般大衆などが紙幣に採用される肖像に、どのような人物を期待しているかを調査した。すなわち、政治家や文化人などの肖像候補者をリストアップし、昭和37年初期の段階から、調査対象を一般人とデザイナー・グループに分け、肖像のデッサンも添えて本格的な好感度調査をアンケート方式で行ったのであった。その結果では、伊藤博文、和気清麻呂、岩倉具視、明治天皇、野口英世、内村鑑三、渋沢栄一、夏目漱石などの政治家や文化人が一般大衆に好まれていることが判明したのであった。

その後、新しい千円券の肖像人物の選定は急ピッチで行われ、知名度、出典や資料となる精巧な写真の有無、偽造防止効果などの面から、検討が続けられた結果、最終的に伊藤博文と渋沢栄一の二人が有力な候補者として選定された。その人物像のほかに、デザイン面でも検討がなされ、輪郭枠のある従来型、思い切って輪郭枠などを撤去した新タイプなど、複数の紙幣デザイン案が審議された。その結果、昭和37年9月には最終的な結論が出されたが、決め手となったのは伊藤博文の豊かな顎髭であった。対抗馬の渋沢栄一には当然ながら髭はなく、しかもその写真は80歳後半の老齢化した容貌であったためか、伊藤博文に軍配が上がったのであった。

また、肖像以外の図柄に関しては、新しい印刷技術を駆使して偽造抵抗力を強化するために、シムルタン模様を極力多く採用する一方、従来のような凹版印刷による重厚な唐草や彩紋模様を極力少なくし、輪郭枠の無いすっきりしたデザインとする方向で図柄の調整が行われた。当時選考対象となった両者の肖像を描いたラフスケッチ図案では、従来通りの重厚な唐草模様を用いた輪郭枠付きの下図もあったが、結果的には思い切った輪郭枠を撤去した斬新な図柄が選ばれたのであった。

C千円券の表面のデザインは、東角井良臣図案官、伊藤博文の肖像彫刻は押切勝造彫刻官、下部の菊と唐草の図柄は中田昭吉彫刻官、特徴のある斬新なシムルタン地模様は山田輝郎、菅谷権次郎など数人のデザイナーや技師が担当した。何とんでもC千円券のデザインや彫刻面の特徴は、肖像自体が従来のC一万円券の聖徳太子の肖像などと比べて面積比で約3倍になり、その分ビュラン彫刻刀による細かい点線や曲線を用いて輪郭や陰影などの肖像を微細に表現することができたのである。特に伊藤博文の豊かで複雑に絡み合った顎髭の表現は、極めて優れており、当時の写真製版や印刷技術ではとても再現できないもので、偽造防止効果が大きいものであった。この肖像の基になった写真は、大正2年発行の「日本歴代写真帳」（東光園出版社）から引用したもので、図版の下部には「李鴻章と馬関談判の全権大使故伊藤博文氏」と日本語と英語で説明が印刷されている。明治28年4月下旬で開催された日清戦争の講和条約交渉時に、全権大使の伊藤博文は、陸奥宗光全権大使と共に、清国の李鴻章と交渉に臨んだ54歳当時のもので、元の写真自体は彼が総理大臣であった際に、著名な東京新橋の丸木写真館で撮影したものであった。襟元の勲章略称の線数は、本来15本であるべきだが、何らかの理由で8本の線が入ったものを使用している。

何と言っても斬新な点は、中央の「千円」の額面金額のバックには、宝相華模様と白くて細い輪郭枠画線を境にして、全く異なる色彩が隣接する模様の「シムルタン模様」であり、この技法はオーストリアの銀行券に採用されたばかりの最新技術を援用したと言われている。

裏面の図柄は野沢保人図案官がデザインし、日本銀行の建物は渡部文雄彫刻官が担当、裏面左部分のカラフルで微細なシムルタン模様は、表面と同じ菅谷権次郎ほかの彫刻官や技師が担当している。裏面左のシムルタン模様は、多色シムルタン印刷機で見事に表現されているのが特徴である。透かしについては、表面左部分に印刷の無い空白部分を設け、そこに伊藤博文の横顔を白黒透かしで漉入れており、そのデザインの基になったのは、国会議事堂の中央広間に飾られている昭和13年の「大日本帝国憲法発布50年記念」の際に作られた銅像である。議会政治の基礎を作った功績者3体の彫刻立像は、板垣退助、大隈重信、伊藤博文であり、その中の伊藤博文像の顔部分が選ばれている。横顔となった理由は、左の狭い漉き入れエリアに透かしの肖像を採用するためには、横顔しか採用できないためであり、基になった透かしの図柄のデザイン作成は押切勝造が担当した。

C千円券の印刷は、ドイツから導入した多色ドライオフセット印刷が可能な「シムルタン」機を用いて、表面には3つの版面が設置され、それぞれに異なる色の2色のインキが付けられ、その境目は色が次第に変化するレインボー印刷も用いている。また裏面は2つの版面で、同様にそれぞれ2色のインキを用いている。その結果、C千円券の表面の地紋模様は6色、裏面は4色（うち1色は印章）を表裏一度に印刷されるため、カラフルで精緻な模様を全く印刷ズレもなく、1時間に大判紙で約6千枚を印刷したのであった。また表面の肖像や菊の花の図柄は、同様にジョリ社製の凹版3色ザンメル印刷機を用いて、肖像や菊の図柄の部分では、部分的に刷色が変わる褐色と暗緑色の2色印刷している。この新鋭機は、従来の凹版速刷機とは異なり、速乾性インキを使用して高速運転ができる機械であり、製造量増加の要請に応えられることとなった。また、裏面の凹版印刷にはイギリスのデラルー社製の小型の輪転印刷機を用い、また記番号印刷にはジョリ機構の番号輪転印刷機ヌメロータを用いて、全体として新銀行券の需要増に対応できるよう、印刷局の各工場に一齐に導入された。その後、ドイツ製の機械より優れた性能を持つ国産の銀行券印刷機の開発が進み順次導入されたため、やがてこれらの外国製の機械類は、より精度が高く、効率が良い国産の機械に更新され、将来のD券シリーズ以降に、その実力を発揮することになる。

このように最新の機械を使用し、また斬新なデザインや精緻な肖像を採用した革新的なC千円券であったが、特に隣の韓国では植民地支配を断行した伊藤博文を肖像に採用することに対して一部に反感の意見があったほか、国内でも伊藤博文の女性関係などに関して批判の声もあったが、全体としてはこのC千円券については、大多数の国民に歓迎されたのであった。なお、このC千円券に対する需要が高く製造枚数が多かったため、日本銀行券では初めて、当初の黒色記番号に使用できる129億6千万枚を使い果たしてしまい、昭和51年7月以降発行の後期券の記番号は青色に変更するという、初めてのケースとなった。



C千円券の表面と裏面

伊藤博文の
凹版肖像出典となった
肖像写真



伊藤博文のコンテ画を
手にする押切彫刻官



伊藤博文の輪郭枠のあるラフ下図



最後まで競い合った渋沢栄一を描いたラフ下図と、出典となった肖像写真



伊藤博文の
白黒透かし



国会議事堂
中央広間の
伊藤博文の彫像



肖像彫刻者・
押切勝造彫刻官



C千円券裏の
シムルタン模様



表面中央の宝相華等の
シムルタン模様

続いて発行されたC五百円券

C千円券発行後の6年目の昭和44年11月には、昭和26年に発行されたB五百円券が発行後約18年も経過し、使用している偽造防止対策がかなり劣化して来たため、C五百円券が発行された。基本的な表裏の図柄は変更せず、C千円券と同じように新鋭機械の技術を駆使した銀行券にするという方針のもとに、表面のデザインは嶋田武夫図案官、裏面は野沢保人図案官が担当し、表面の肖像は笠野常雄彫刻官が、裏面の富士山の図柄は押切勝造彫刻官が凹版彫刻した。肖像はB五百円券と同様に岩倉具視で、明治22年にキヨッソーネによって制作された大型銅版画(縦55×横41cm)を参考にし、勲章を付けた盛装姿を蝶ネクタイの平服姿に変え、また元の右向きの肖像を左向きに変更したものである。肖像の大きさは従前の約1.5倍大に、また凹版彫刻の肖像も一層細かな画線を用いて、よりリアルに立体的に彫刻している。また、表面右の岩倉具視の肖像の右下部分には月桂樹の図柄、左下部には桜花、左上部分には唐草模様を配置しており、黒色と青色の凹版2色ザンメル印刷を採用している。地模様については、表面中央部分には繊細な画線の多色シムルタン模様を大きく採用している。一方、C千円券は輪郭枠を殆ど撤廃した斬新な図柄であったが、やはり日本人にとっては唐草模様や輪郭枠が好まれることから、従来ほどではないが凹版などによる輪郭枠を幾分復活させている。裏面の雁ヶ腹摺山から見た富士山の光景はB五百円券と殆ど同じであるが、新たに凹版彫刻し直したものであり、山容や樹木、雲の形など、微細な点で異なっている。なお、従前使用中尊寺の天蓋模様は使用せず、新たに白彩紋凹版模様に変更している。

また、用紙については、当初発行の銀行券は純白の用紙を使用していたが、その後白色度を下げ、やや

黄色味がかった銀行券用紙に変更している。透かしについては表面左の空白部分に、「桜花と波線」の白黒透かしを漉き入れている。このC五百円券は、昭和57年以降白銅貨の500円コインが発行となったため、昭和58年まで製造していたが、昭和59年以降は製造を中止している。



C五百円券の表面と裏面



岩倉具視の凹版肖像

凹版彫刻中の
笠野常雄彫刻官桜花と波線の
白黒透かし

なお、当初導入された外国製の紙幣印刷機は、その印刷可能な寸法が不十分であること、印刷後の余分なインキの拭き取り用に皺紙が必要であったり、印刷精度や溶剤仕様のインキからの脱却など、技術的な問題のほか、設置する機械台数が多くなり、効率性や費用面での問題点があるなどの理由から、昭和39年度以降は外国製の機械類の導入を中止した。そして、日本の印刷局が独自に開発設計し、小森印刷機械製作所（当時）に発注製造した、地紋と凹版模様が一度に印刷できる効率性や印刷性能に優れた国産の「ドライオフセット凹版輪転印刷機」に、昭和47年度以降次第に取り替えられて行った。そして、昭和50年代中頃には殆どの機械類が国産化し、やがてそれらの最新鋭の機械類は、昭和59年発行のD券シリーズの印刷に使われるようになったのであった。

（筆者：紙幣研究家 植村 峻 一般財団法人 印刷朝陽会 事務局長）

[参考文献]

- 大蔵省印刷局・編「大蔵省印刷局史」大蔵省印刷局発行 昭和37年
- 大蔵省印刷局・編「大蔵省印刷局百年史・第3巻」大蔵省印刷局発行 昭和47年
- 植村 峻・著「紙幣肖像の近現代史」吉川弘文館発行 平成27年
- 植村 峻・著「日本紙幣の凹版彫刻者たち」財団法人印刷朝陽会発行 2010年
- 植村 峻・著「日本紙幣の肖像やデザインの謎」日本貨幣商協同組合発行 2019年
- 植村 峻・著「贋札の世界史」角川ソフィア文庫 2020年
- 東大文学部心理学教室「銀行券及び貨幣に関する調査」1962年
- 法隆寺ほか・編「国宝法隆寺展」NHK発行 1994年
- 法隆寺・編「法隆寺とシルクロード仏教文化」法隆寺発行 1989年
- 研谷紀夫・編「皇族元勳と明治人のアルバム」吉川弘文館発行 2015年

第 32 回東京国際コイン・コンヴェンション即売品の一部



①シチリア・シラクサ デカドラクマ 405 - 370BC 43.33g
NGC Ch XF 4/5 4/5 Fine Style 価格 要問い合わせ



5円黄銅貨 昭和25年
二重打エラー
初見品 美品
価格 要問い合わせ



④慶長丁銀
前期 140g
美品 95万円



⑤酒田県札 銭八百文
日本貨幣カタログ原品 サケ有
美品 30万円



③旧国立銀行5円札 見本券 PMG VF20 120万円

4月14日頃(大安) ホームページ
オープン
<https://sekiguchicoin.com>



ブース No.
B7~10



日本の古銭・世界のアンティークコイン
SEKIGUCHI
ANTIQUE COINS

セキグチ

〒371-0033 群馬県前橋市国領町2-1-8 TEL: 027-232-5789

第 32 回東京国際コイン・コンヴェンション



①永楽通宝 金銭 背大桐 450万円



②紹聖元宝 金銭 250万円



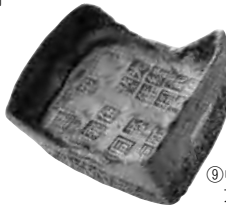
④佐渡一分金
250万円



⑥秋田封銀八匁銀
85万円



⑧日本軍票 試刷対ノ戦
50 カペク 180万円



⑨中国 江西五十両銀
方宝 光緒二十六年 650万円



⑦裏白二百円札 見本券 完全未使用 450万円



⑩中国 吉林永衡官銀錢局壹圓 650万円



⑤筑前三分金
75万円



③元禄小判金 短元 無刻印
450万円

ブース No.
K8~10

(株)野崎コイン

<https://www.nozakicoin.jp/>

〒164-0001 東京都中野区中野 5-52-15 ブロードウェイセンター 2 階 TEL03-3389-5958 / FAX03-3389-5959

おかげさまで半世紀
信用と実績でお客様とつなぐ
切手・古銭・紙幣・テレカ・金券売買



ケネディ・スタンプ・クラブ

〒160-0004 新宿区四谷1-9 新盛ビル3階
TEL.03-3353-6755 FAX.03-3353-6910 <http://www.kennedystamp.jp/>

ブース No.H1 ~ 4 御来店お待ちしております。



日本貨幣協会

会長 小川 隆司 「貨幣」研究・収集の楽しみ

—入会のご案内— 会誌「貨幣」を定期的に刊行。年6回。
年会費¥5,000で会員資格が得られます。

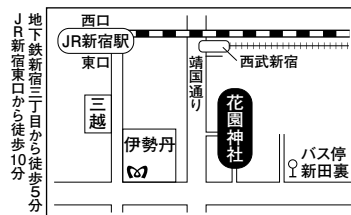
「日本貨幣協会」入会の申し込み先及び問い合わせ先

〒243-0413 神奈川県海老名市国分寺台1-15-14
事務局 吉田 守 TEL 090-7839-4437



例会々場

毎月第2日曜日午後1時に開催
東京都新宿区新宿5-17-3
花園神社内・花園会館(社務所)
☎ (03) 3209-5265



**改訂版
5月上旬
発売!**

日本の貨幣 — 収集の手引 —

日本貨幣商協同組合 編集 発行

我が国の貨幣の起こりから現代まで、歴史的な貨幣を網羅しその一つ一つに詳細な解説を施しました。貨幣はそれぞれに政治、社会、経済的背景を背負って生まれて来ます。貨幣のもつ背景を知ること、貨幣に対する興味がより一層高まります。専門的なタイプ別分類や、手変わり品の紹介、また各種貨幣の識別方法など、「日本貨幣カタログ」に掲載されていない様々な知識が満載されています。収集の手引き書として、貨幣カタログと共にぜひご愛用下さい。

定価 1,600 円 (税込)



※表紙はイメージです。

※お求めは、全国の組合加盟店へお問い合わせください。

第八回 香港コインショー THE 8TH HONG KONG COIN SHOW

09-11.09.2021 木曜日～土曜日

18/F The Mira Hong Kong



各国有名な貨幣販売業者が集まる

アジアで最も盛大なコイン・コンベンション

Gathering of important
numismatic dealers



入場券購入
Purchase Ticket Online

共同主催
Jointly Organised by

Stacks & Bowers
AND FUNTERIO

SPINK
LONDON

大会スポンサー
Sponsored by

NGC
Numismatic Guaranty Corporation

新世紀錢幣鈔票
New Century Coins & Notes

廣銀閣
Coin In Coin

首席收藏
SHOUXI.COM

PCGS
Professional Coin Grading Service

TRIGOMETRIC

日本赤十字社コーナーで世界のコインを配布します コインで愛の手をつなごう！



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

—— 世界のコインでチャリティー運動 ——

東京国際コイン・コンベンション会場の日本赤十字コーナーにおいて日本貨幣商協同組合の協力のもと海外旅行者など、様々な皆様から善意の寄付として寄せられた世界のコインをパッケージにして、会場を訪れた皆様に配布し、ご寄付を募ります。

集められた寄付金は全額、日本赤十字社が行う赤十字活動に役立てられます。

コインコレクターのあなたも是非、このコインを通じたチャリティー活動にご参加、ご協力ください。

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

日本赤十字社コーナーでの世界のコインの配布は、
2日(日)・3日(月・祝)の2日間のみとさせていただきます。
初日の1日(土)は、コインの配布は行いません。

配布のスケジュール

2日(日) 11:00 ～クラウンルーム
3日(月・祝) 11:00 ～クラウンルーム

※コインの配布は、両日ともに無くなり次第終了となります。

ご出品募集中！

9月香港オークション
日時: 2021年9月6-8日
出品締切: 2021年6月上旬

出品実績ハイライト



**JAPAN. Pattern Set, Year 3 (1870).
London (British Royal) Mint. Mutsuhito (Meiji).
All PCGS Gold Shield Certified.**



RUSSIA. Silver Ruble Pattern,
1825-CNB. St. Petersburg Mint.
Constantine. NGC PROOF-62.



CHINA. Gold K'uping Tael Pattern
(Restrike), CD (1907). Tientsin Mint.
NGC MS-64.



CHINA. Silver Long-Whisker Dragon
Dollar Pattern, Year 3 (1911). Tientsin
Mint. PCGS SPECIMEN-64 Gold Shield.



CHINA. Silver Dollar Pattern,
Year 17 (1928). PCGS
SPECIMEN-64 Gold Shield.



CHINA. Dollar, ND (1916).
PCGS MS-68 Gold Shield.



THAILAND. 4 Baht (Tamlung), ND
(1864). Rama IV. NGC MS-61+.



JAPAN. Gold 10 Yen Pattern,
Year 3 (1870). PCGS
SPECIMEN-61 Gold Shield.



CHINA. Anhwei. 7 Mace 2
Candareens (Dollar), Year 24 (1898).
PCGS MS-64 Gold Shield.



PHILIPPINES. Philippines - Mexico.
8 Escudos, ND (1834-37). Isabel II.
PCGS MS-61 Gold Shield; Counter-
mark: UNC Details.



CHINA-PROVINCIAL BANKS.
Kwangsi Bank. 1 Yuan, 1909.
P-S2345. "Black Dragon" Note.
PMG Choice Fine 15.



JAPAN. 20 Yen, Year 10 (1877).
Osaka Mint. Mutsuhito (Meiji).
PCGS MS-64 Prooflike Gold Shield.



JAPAN. Hishi Oban (10 Ryo),
ND Tensho Era (ca. 1588).
PCGS MS-60 Gold Shield.



JAPAN. Naga Oban (10 Ryo),
ND Tensho Era (ca. 1573-1591).
PCGS Genuine-Damage,
AU Details Gold Shield.



JAPAN. Oban (10 Ryo), ND
Genroku Era (ca. 1695-1704).
PCGS MS-62 Gold Shield.

専門、信頼、実績 10 年間香港のアジアメインセールの売り
上げは既に百億円を超え！
ご出品をご希望される方はお気軽にお問い合わせください。
(日本語対応可)

+1.949.253.0916 カリフォルニア州
+1.212.582.2580 ニューヨーク | +852.2117.1191 香港
infohk@stacksbowers.com | stacksbowers.com

WORLD & ANCIENT COINS

Accepting Consignments Year-Round for Signature, Monthly, and Weekly Auctions

Stellar Highlights from Our NYINC 2021 Platinum Night® Auction



Great Britain: Henry III (1216-1272)
gold Penny of 20 Pence ND (c. 1257)
MS63 NGC
Realized \$720,000



Mexico: Philip V gold "Royal"
8 Escudos 1714 Mo-J
MS66 PCGS
Realized \$288,000



Great Britain: George III gold
Proof Pattern 2 Guineas 1768
PR63+ NGC
Realized \$228,000



Scotland: Mary, Queen of Scots (1542-1567)
& Francis I of France gold Ducat of 60 Shillings 1558
Fine Details (Tooled) NGC
Realized \$216,000



Mezezius (AD 668-669). AV solidus
NGC Choice MS 5/5 - 5/5
Realized \$216,000



SICILY. Syracuse. Pyrrhus (278-276 BC). AV stater
NGC Choice AU 5/5 - 3/5, Fine Style, marks
Realized \$156,000

**For a free appraisal, or to consign to an upcoming auction,
contact a Heritage Consignment Director today.**

Inquiries:

サム・シュピーゲル | インターナショナル・ヌミスマティクス ディレクター | +1-214-409-1005 | SamS@HA.com

DALLAS | NEW YORK | BEVERLY HILLS | SAN FRANCISCO | CHICAGO | PALM BEACH
LONDON | PARIS | GENEVA | AMSTERDAM | HONG KONG

Always Accepting Quality Consignments in 40+ Categories
Immediate Cash Advances Available
1.25 Million+ Online Bidder-Members

ヘリテージオークションズ
世界最大の貨幣競売会社

落札手数料20% 詳しくは、HA.com. 59654

5/30/2021 CHAMPION MACAU SPRING AUCTION

www.cghka.cn

05/28 Address	16:30-21:00	Macau Numismatic Society Monthly Show and Dinner Restaurante Ka Nin Wa, 50 R. de Pedro Coutinho Costa
05/29 05/29	10:00-18:00 11:30-14:00	Champion Auction Preview NC Collection Book Release and Lunch/The Second Conference of NC Copper Coin Collection
05/29 05/30 05/30 05/31 Address	19:00-21:00 09:00-12:00 10:00-17:00 09:00-13:00	Cruise Dinner Champion Auction Preview Champion Macau Auction Pick up 6F Promenade, Sofitel Hotel Macau at Ponte 16

NC Collection Highlights

★ Please contact Michael Chou for more info: Tel: (+) 85268770059 Email: mhlichou@yahoo.com



★ CHINA-CHIHLI 1907 One Tael Silver Pattern, 3 Tiny Dots on Flame-Ball Arranged in a Straight Line, L&M438, K938a, NGC MS63
Estimate: US \$200,000-400,000



★ CHINA-REPUBLIC ND(1916) Yuan Shi Kai One Dollar Silver with Flying Dragon, with L.GIORGI, KM-Pn47, L&M943, K663a, NGC MS64, Ex. Kann Collection, Finest Known
Estimate: US \$200,000-400,000



★ CHINA-EMPIRE 1911 One Dollar Silver, Long-Whiskered Dragon, KM-Pn304, L&M28, K223, NGC MS64, Finest Known
Estimate: US \$150,000-200,000



★ CHINA-REPUBLIC 1914 Yuan Shi Kai One Dollar Silver with Signature L. GIORGI, L&M87, K645a, NGC MS65, Finest Known
Estimate: US \$150,000-300,000



★ CHINA-EMPIRE 1906 One Tael Gold, Large Clouds, Plain Edge NGC MS64, Finest Known
Estimate: US \$100,000-200,000



★ CHINA-HONAN 1909 One Cash Brass, NGC MS63, Ex. Dai Daoting Collection, Finest Known
Estimate: US \$80,000-160,000



★ CHINA-REPUBLIC ND(1912) Yuan Shi Kai (Named Chin The Chuen before) One Dollar Brass Trial, K672x, NGC UNC Details, Ex. Kann Collection, Unique
Estimate: US \$60,000-120,000



★ CHINA-ANHWEI 1898 One Dollar Silver, Short Chinese Character "4" and with Small Rosette, NGC MS66, Finest Known
Estimate: US \$60,000-120,000



★ CHINA-JILIN 1901 Kirin 10 Cash, NGC EX DETAILS, Unique
Estimate: US \$60,000-120,000



★ CHINA-ANHWEI 1902-1906 10 Cash Copper, with Square Hole in Center, Not in Woodward Catalogue, NGC MS63BN, Maybe Finest Known Original Strike Example
Estimate: US \$30,000-60,000

Champion Shanghai
Room 1808, Bao Hua Building, No.1211,
Changde Rd, Shanghai 200060,
People's Republic of China
Tel: (86) 021 62139771
Email: chs@ploughka.com

U.S. Partner Rick Stelzer
Estate Coin & Jewelry Galleria
1650 main street sarasota FL 34236
Tel: (1) 941-952-0100
Email: rick59447@gmail.com



①

②

⑥

③

⑦

④

⑤

⑧

⑨

⑩

⑧

ブース No.C7～10

① 万延大判金 背吉き字 元書	鑑定	極	320 万
② 佐渡小判金 背高神	鑑定	極	480 万
③ 旧 20 円金貨 明治 3 年 キズ有	鑑定	極	540 万
④ 新 20 円金貨 大正 4 年 (財務省)		未	75 万
⑤ 新 5 円金貨 昭和 5 年 (財務省)		未	450 万
⑥ 元禄小判金 短元	鑑定	極	240 万
⑦ 試作 10 円鳳凰 / 桐紋様 3 ケ ニッケル製 PCGS SP62			100 万
⑧ 樋口 五千円札 若番 A000040A PMG			50 万
⑨ 会津銀判 一両 小菊	鑑定	極	300 万
⑩ 会津銀判 一分 小菊	鑑定	極	1,000 万

大切な収集品・重複品の処分をご検討の際は、是非弊社にご相談ください。

(株)新橋スタンプ商会

本社 〒105-0004 東京都港区新橋2-5-6 大村ビル3階
●営業時間 / 10時～18時(水10時～17時) ■休業日 / 日曜・祝日

☎ **0120-478-548**

札幌支店

〒054-0804 北海道札幌市中央区南4条西6丁目
寺田ビル1F (東向)

■営業時間 / 10時～18時 (土日祝～18時)

■休業日 / 第2・3日曜日

■Twitter @y43a23u23

☎ **0120-936-136**



世界と日本 の金銀貨

高価 買入中!

コレクションは全国出張可!

査定後の売却方法は以下の3つ!

1. 当社による買取
2. ご希望金額による委託販売
3. オークションによる売却

査定は簡単! 店頭へのご来店、
郵送でのお申し込み、メールなど
での写真査定も承っています。

メールでの査定はこちら

satei@coins.co.jp

※写真査定の場合は大まかな査定となり、正式な
金額の提示は現品確認後となる場合があります。



世界 100 社以上のオークション代行も承っております



全世界で 100 を超えるオークション会社、セールの数は年間 400 以上。
その 90% 以上と取引があり世界の適正価格に強い当社にお任せ下さい。
※代行手数料は 3%~10% にて承ります。詳細につきましてはお気軽にご相談ください。

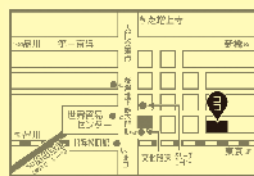
グレーディングのご用命は日本一の実績を誇る当社にお任せ下さい!



お手持ちの、世界で一枚だけの「手のひらサイズの世界遺産」に、
「グレーディングという付加価値」をお付けになりませんか?

PCGS の公認サブミッションセンターに認定されました

当社はこれまでのグレーディングの取扱実績を評価され 2020 年 3 月に
PCGS の日本に於ける唯一の「公認サブミッションセンター」となりました。
勿論、NGC の「公認サブミッションセンター」としても活動しています。
グレーディングの事ならお気軽に何でもご相談ください。



JR 浜松駅北口 徒歩3分
都営地下鉄大門駅 徒歩2分

(株) ワールドコインズ・ジャパン WORLD COINS JAPAN

〒105-0013 東京都港区浜松町 2F, 1-15-5, Hamamatsucho
1-15-5 コープ浜松町2階 Minato-ku, Tokyo, 105-0013
http://www.coins.co.jp JAPAN



責任者 石井栄一

TEL 03-5777-0351 FAX 03-5777-0352 e-mail info@coins.co.jp

営業時間 月~土 11:30~18:00 (日曜定休)

※店頭販売は予約制とさせて頂いております。お電話またはeメールにてお問い合わせ下さい。



[AW お問い合わせ先]
☎ 03-5425-6188
info@auction-world.co

オークション・ワールド 出品募集中!

第 25 回オークション

7月17日(土) & 18日(日) 予定

※出品をご希望の方はご相談下さい。

第 26 回オークション

10月16日(土) & 17日(日) 予定

※出品締切予定: 7月末日

第 9 回マンスリー・e オークション

入札受付開始: 5月6日(水) 予定

AW ウェブサイト上にて間もなく公開

入札終了: 5月20日(水) 21 時より順次

●当社の全てのオークションは www.auction-world.co よりアクセスいただけます。



TICC ではブース No.B1 ~ 4 銀座コインへお越し下さい。

銀座コイン GINZA COINS

コインの専門店・銀座コインは江戸時代に造幣局があった銀座で古貨幣の売買一筋に 53 年。国内外のたくさんの貨幣を展示販売している楽しいお店です。コレクションを始める際のアドバイスや、お手持ちの貨幣を鑑定・評価し買取のご相談も受け付けています。是非一度足をお運びいただけますと幸いです。

東京都中央区銀座 5-1 銀座ファイブ 1F
TEL. 03 - 3573 - 1960
営業 10:00 ~ 19:00 (時短営業中)



コーポレートサイト:
<https://ginzacoins.co.jp>



通販サイト:
<https://shop.ginzacoins.co.jp>



書籍紹介



「お宝貨幣なんでも読本」
好評発売中!

著者
銀座コイン 会長 竹内俊夫
(人気TV番組「開運なんでも鑑定団」鑑定士)

出品
受付中

第33回 銀座コインオークション

●令和3年11月20日(土) ●東京・帝国ホテル

「銀座コインオークション」は一定の手数料で、お手持ちのコレクションを公正にご処分いただける場所です。国内外の貨幣すべてを対象としております。ご出品をご希望される方はお気軽にご相談下さい。

E-mail : info@ncanet.co.jp / URL : www.ncanet.co.jp



トランシルバニア公国 10 ダカット金貨 1661 年
ケメニ・ヤーノシュ 贈呈用もしくは試鑄貨の珍品
過去のオークションで 2 枚しか知られていない
裏面に小さなニッケ有 -EF

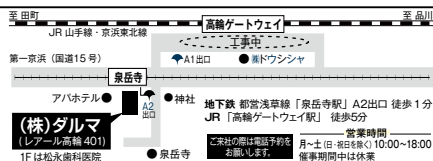


オーストリア 100 コロナ金貨 1908 年
雲上の女神
NGC PF60



旧 20 円金貨 明治 3 年 (1870 年)
NGC MS63

2021年8月31日(火)到着品まで受付!! (予定ロット数に到達次第、受付を
締切する場合もあります。)



泰星オークション 2021

2021年5月2日(日)
10:00～18:00(予定)

ロイヤルパークホテル 2階 (春海)



JR 京葉線・東京メトロ日比谷線八丁堀駅
A1 出口より徒歩 1 分

下見のご案内

4月14日(水)～4月27日(火) 10:00～17:00

下見をご希望の方はあらかじめご連絡の上、ご来店ください。
泰星コイン本社は土・日・祝日休業です。

下見や入札など詳細はお電話、Eメールでご連絡いただくか、
弊社 HP にて随時更新される情報をご確認ください。オンライン
による事前入札も可能です。

オークション
前日及び
当日は…

ロイヤルパークホテル2階
ミーティングルームA
5月1日(土)10:00～18:00
5月2日(日) 9:00～14:00

オークション会場ホテルで行われる下見は、大変混雑されることが
予想されます。十分な下見時間をご提供できない可能性がござい
ますので泰星コイン本社での事前下見をお勧めいたします。



日本
天正大判金
JNDA- 古 1B
鑄造期間:
天正年間～慶長 14 年
(1573～1609 年)
品位: 金 730/ その他 270
量目: 165.40g
状態: 美品
墨書: 書改め 大珍品
日本貨幣商協同組合鑑定書付
下値価格 ¥ 5,000,000

英国 女王エリザベス 2 世
英国最長在位記念貨コレクション
1000 ポンド金貨 (1 キロ)
2015 年 ブルーフ
品位: .999 重量: 1,005.00g
直径: 100.00mm
発行数: 15 枚
NGC PF70 ULTRA CAMEO
オリジナルケース付
下値価格 ¥ 8,000,000



英国 ヴィクトリア女王若き肖像
(ウナとライオン)
金・銀・銅貨 15 種
完揃ブルーフセット
1839 年 KMP55
下値価格 ¥ 35,000,000

5 ポンド金貨 (ウナとライオン)
NGC PF 63 ULTRA CAMEO

泰星オークション
TAISEI AUCTION

オークション
専用
フリー
ダイヤル



0120-94-8650

オークション専用メールアドレス auction@taiseicoins.com

泰星コイン株式会社
TAISEI COINS CORPORATION

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目9番4号西野金ビル1F
TEL 03-6735-2103 FAX 03-6735-2108
www.taiseicoins.com/auction/



auctions.taiseicoins.com



大切なコインと紙幣のことは
専門家にお任せください。



コインの鑑定、状態評価、
ホルダー収納
NGCcoin.hk



コインの修復サービス
NGCcoin.hk/NCS



紙幣の鑑定、状態評価、
ホルダー収納
PMGnotes.hk



お問い合わせは、NGC香港オフィスにご連絡ください。
+852 2115 3639 | Service@NGCcoin.hk

星の王子さま

フランス版発刊75周年記念コイン

